

**介護保険サービス等に関する
実態調査**

[調査結果報告書]

枚方市 長寿社会総務課

目 次

	ページ
調査の方法と回収状況、回答者の主な属性	1
調査結果：要支援・要介護認定を受けている高齢者	2
回答者の属性	45

※アンケート調査結果における各設問の母数N（Number of caseの略）は、設問に対する有効回答者数を意味します。

※各選択肢の構成比（%）は小数点第2位以下を四捨五入しています。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合があります。また、複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合があります。

※グラフ中の数字は、特に断り書きのないかぎりすべて構成比を意味し、単位は%です。

調査の方法と回収状況、回答者の主な属性

調査目的	ひらかた高齢者保健福祉計画21（第7期）の策定に向け、介護保険サービスの利用実態や日常生活の状況、将来の生活についての意向等を聴取することにより、枚方市の各地域の高齢者にはどのような課題やニーズがあるのかを把握し、今後の介護保険制度及び高齢者保健福祉施策の適正な運営に資することを目的としています。
調査対象	市内に在住している要支援・要介護認定を受けている65歳以上の人1,300名 ※本市の日常生活圏域13圏域ごとに100名ずつ無作為抽出・無記名調査
調査方法	郵便による配布・回収
調査期間	平成29年(2017年)6月～7月
回収状況	有効回答数 758件（有効回答率58.3%）※前回（平成26年）調査65.6%
回答者の主な属性	性別：男性 33.8%、女性 59.1%、無回答 7.1% 年齢：65～69歳 5.4%、70～74歳 9.2%、75～79歳 19.0%、 80～84歳 19.8%、85～89歳 25.1%、90歳以上 14.2%、 その他・無回答 7.3%

調査結果：要支援・要介護認定を受けている高齢者

設問番号、設問文は平成26年度調査に従っている

問3 あなたは、自分の健康状態をどう思いますか。(あてはまるもの1つに○)

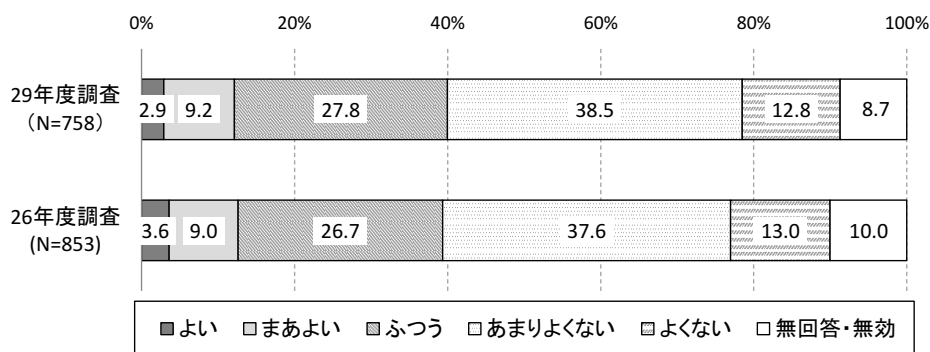
健康状態について「よい」「まあよい」の割合の合計値は12.1%、「あまりよくない」「よくない」の合計値は51.3%で、約半数が不調を訴えている。

26年度調査と比較するとほとんど変化がない。

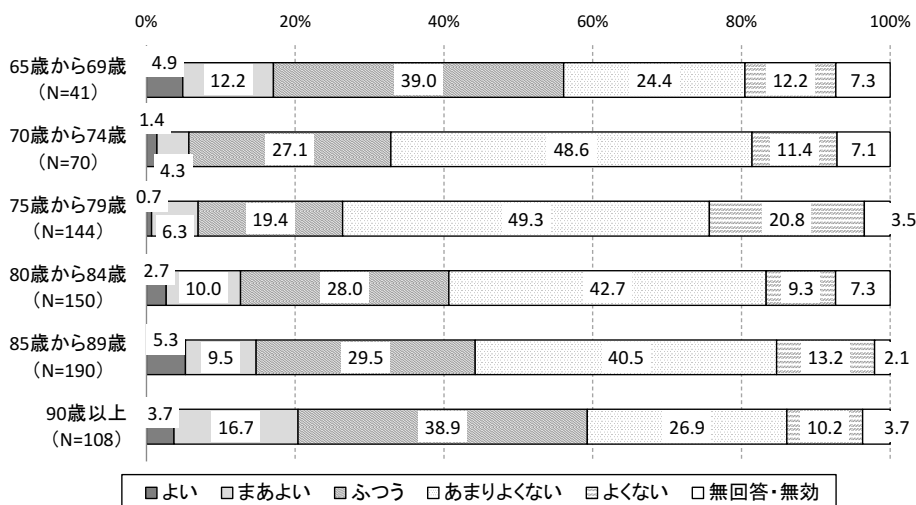
年齢層別には「あまりよくない」「よくない」の合計値は75歳から79歳の層で70.1%となっており、最も高い。

要介護度別では「あまりよくない」「よくない」の合計値は、要介護5で68.0%、次いで要支援2で60.2%、要介護2で59.4%などとなっている。

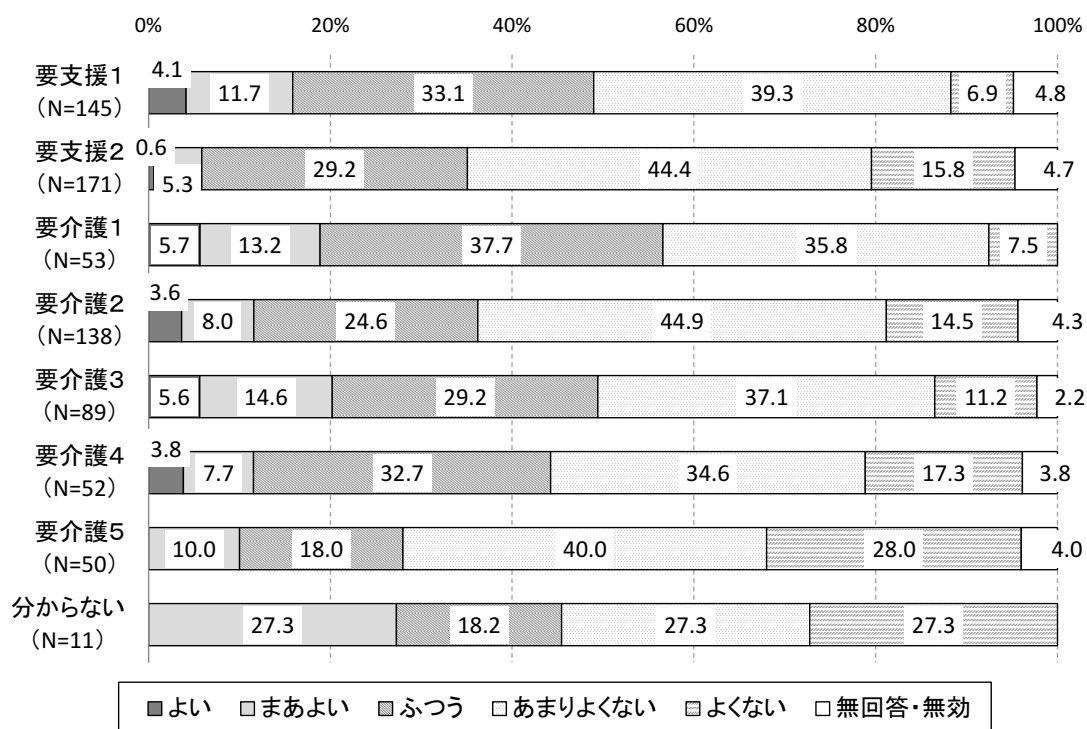
【健康状態】



【健康状態】



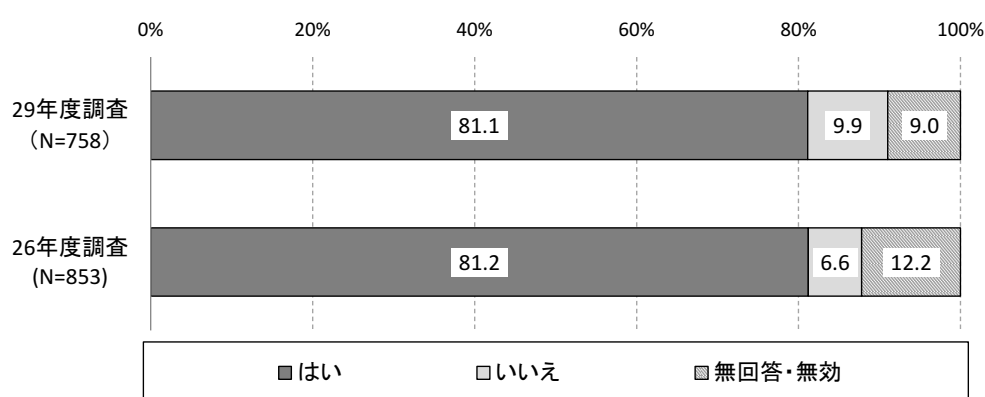
【健康状態】



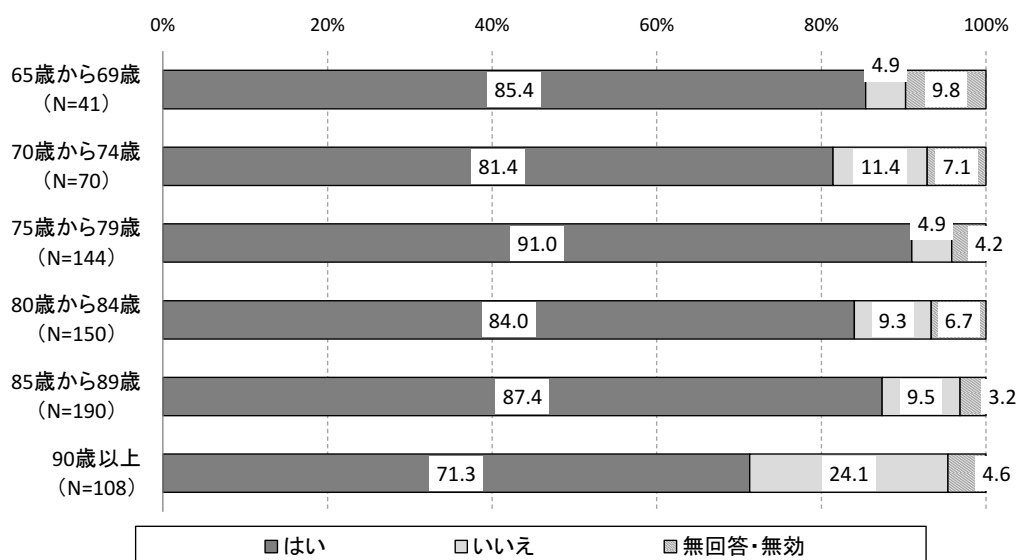
問4 病院・医院の利用状況等についてお聞きします。現在、病院・医院(診療所・クリニック)に通院していますか。(いずれかに○)

何らかの通院をしている回答者は81.1%で、26年度調査と比較するとほとんど変化がない。年齢層別では、90歳以上、介護度別では要介護4及び5で通院していない割合が高くなっている。

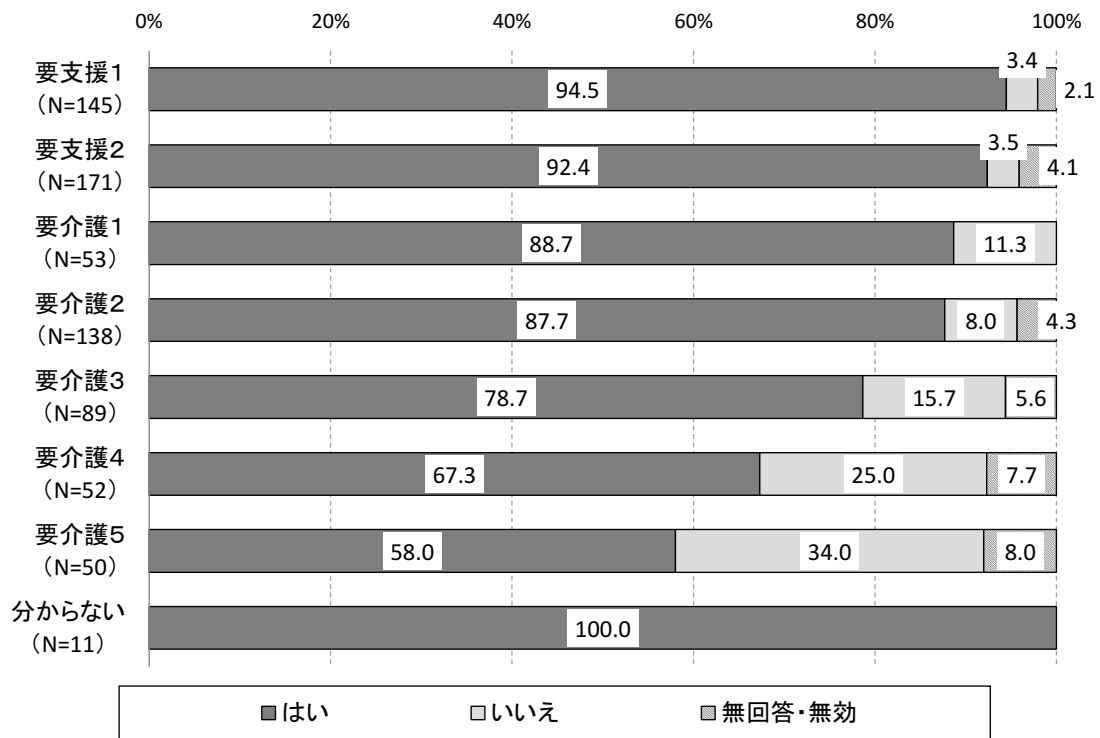
【通院しているか】



【通院しているか】



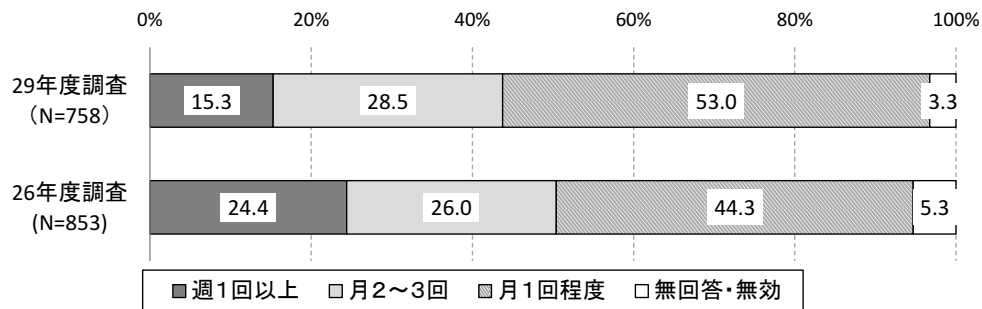
【通院しているか】



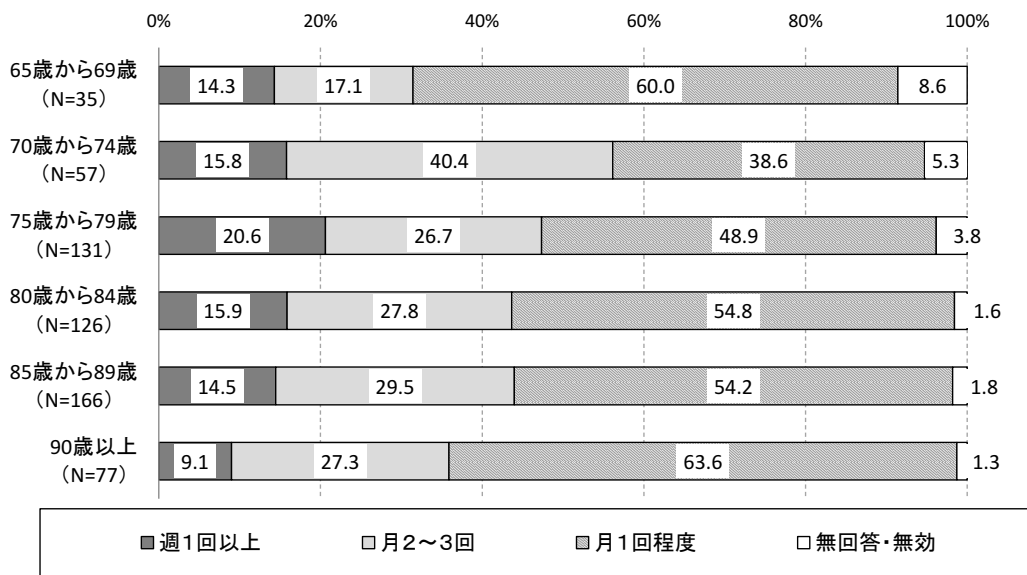
問4-1 前問で「1. はい」と回答された方におたずねします。どのくらい通院していますか。(あてはまるもの1つに○)

「週1回以上」の頻度で通院している回答者は15.3%、「月2～3回」が28.5%である。26年度調査と比較すると「週1回以上」が9.1ポイント低くなっている。「週1回以上」「月2～3回」の合計値が最も高いのは70歳から74歳の層である。

【通院の程度】



【通院の程度】

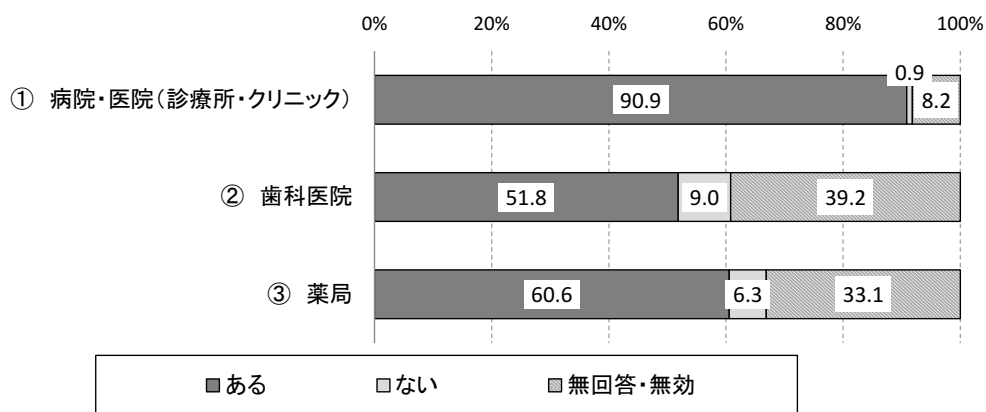


問5 あなたには、かかりつけの病院・医院(診療所・クリニック)・歯科医院・かかりつけ薬局がありますか。(それぞれいずれかに○)

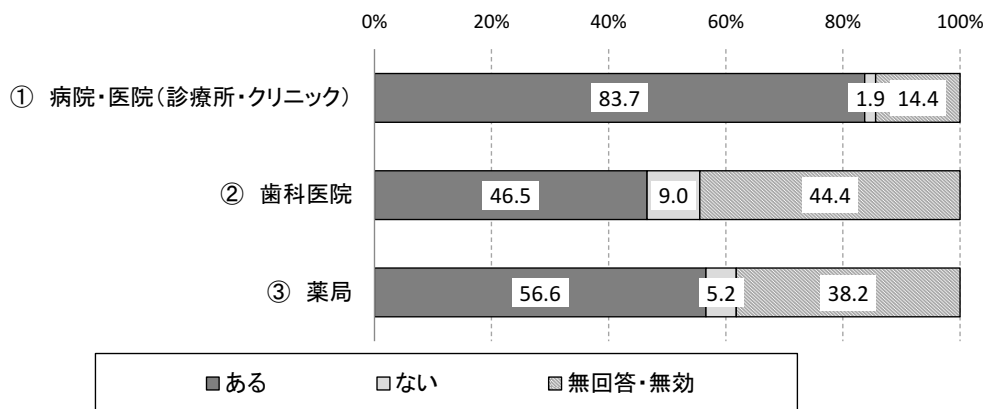
かかりつけ先が「ある」とするのは、病院・医院(90.9%)、薬局(60.6%)、歯科医院(51.8%)の順で高くなる。ただし病院・医院以外は無回答の割合が多い。

【かかりつけ先の有無】

29 年度調査 (N=758)



26 年度調査 (N=853)

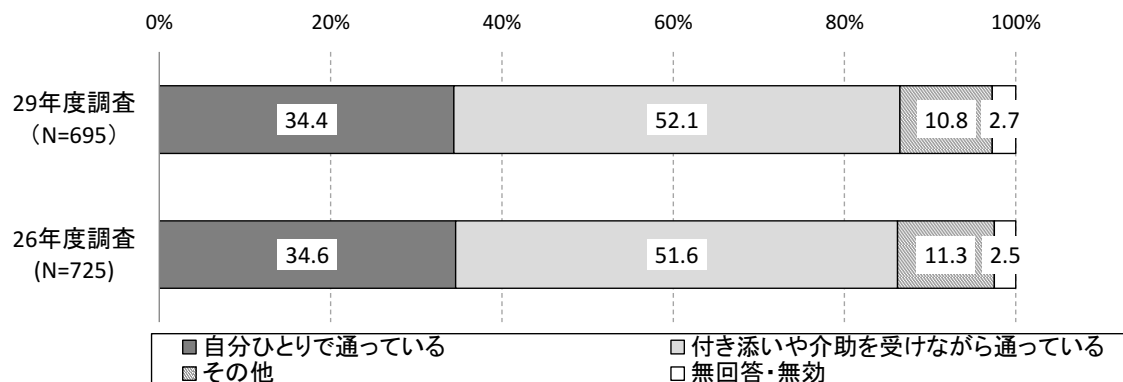


**問5-1 前問で「1. ある」と回答された方におたずねします。どのように通っていますか。
(あてはまるもの1つに○)**

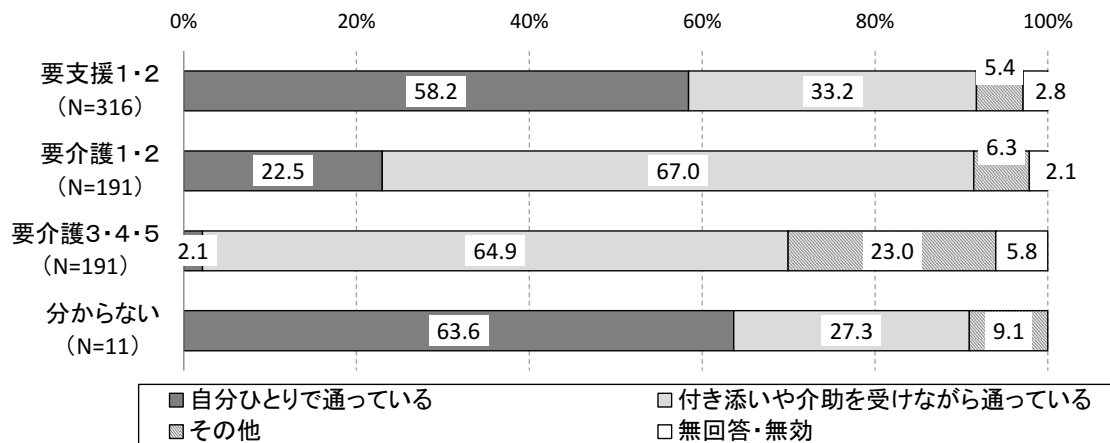
通院などに際して「自分ひとりで通っている」とするのは34.4%、「付き添いや介助を受けながら通っている」とするのは52.1%である。

要支援1・2の層では「自分ひとりで通っている」が58.2%と高い。

【通院時の同伴者の有無】



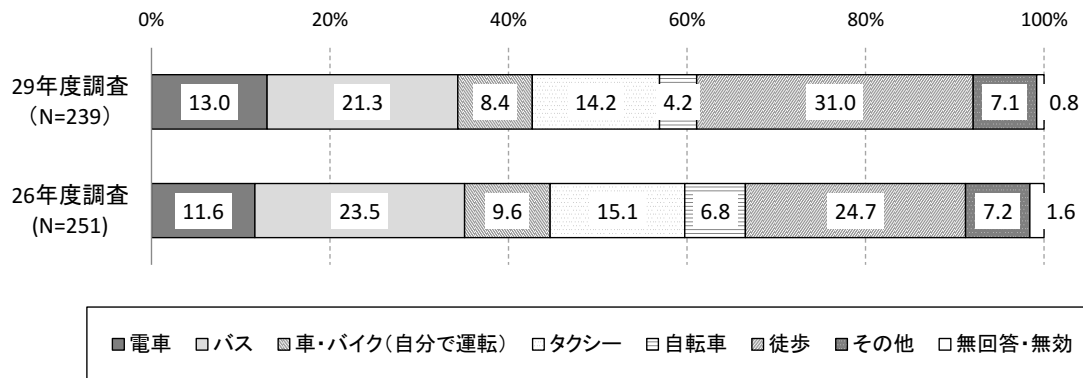
【通院時の同伴者の有無】



問5-2 問5-1 で「1. 自分ひとりで通っている」と回答された方におたずねします。どのような手段で通っていますか。（あてはまるもの1つに○）

ひとりで通う手段としては「徒歩」が31.0%、これに「バス」の21.3%、「タクシー」の14.2%などが続く。

【単独通院時の交通手段】

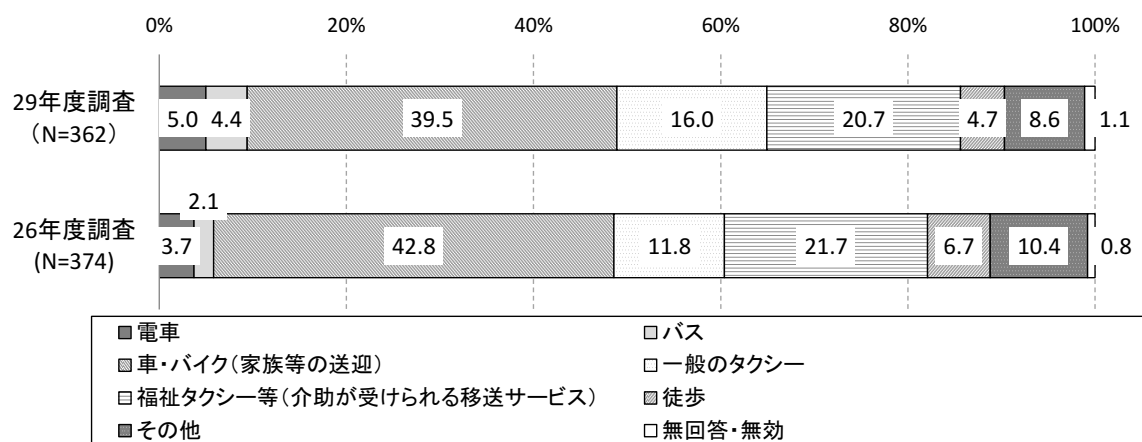


問5-3 問5-1で「2. 付き添いや介助を受けながら通っている」と回答された方におたずねします。どのような手段で通っていますか。（あてはまるもの1つに○）

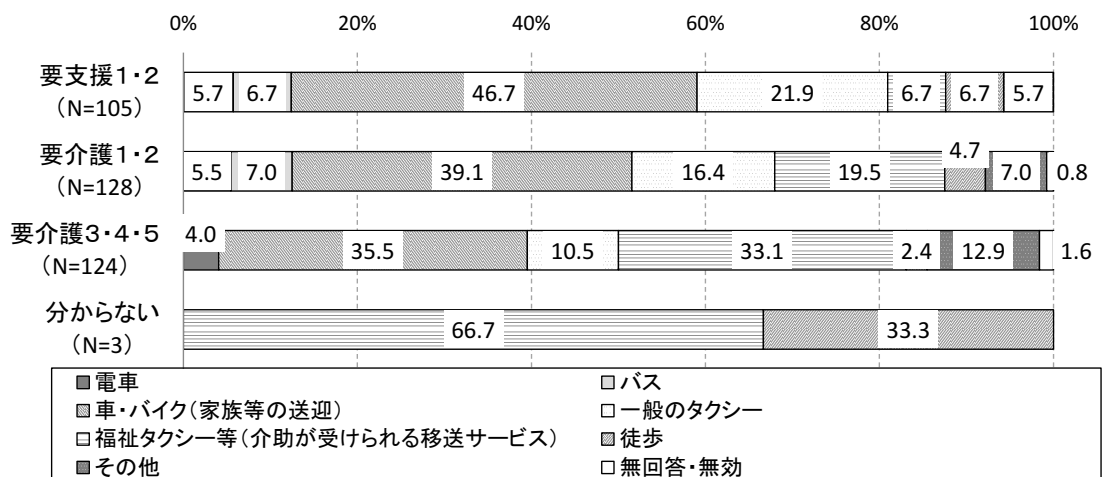
付き添いや介助を受けながら通っている回答者については「車・バイク（家族等の送迎）」が39.5%で最も多い。これに「福祉タクシー等（介助が受けられる移送サービス）」(20.7%)が続く。

要介護3・4・5の層では、33.1%が「福祉タクシー等」を利用している。

【同伴付き通院時の交通手段】



【同伴付き通院時の交通手段】

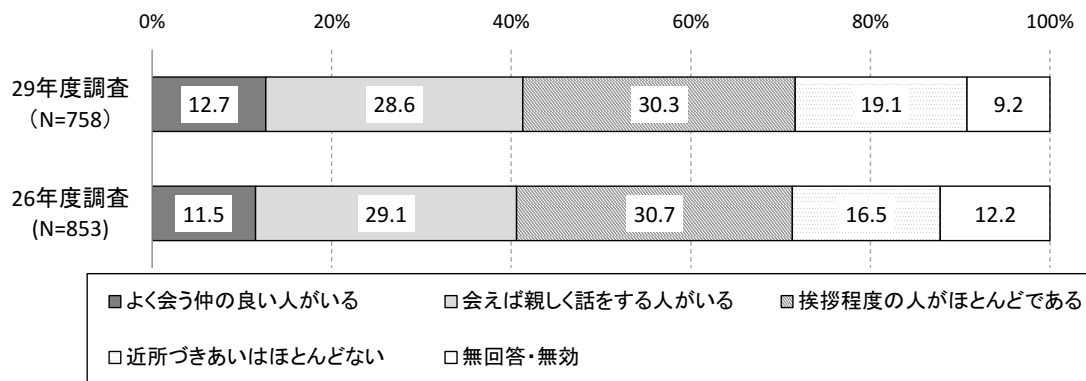


問6 近所づきあいをどの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

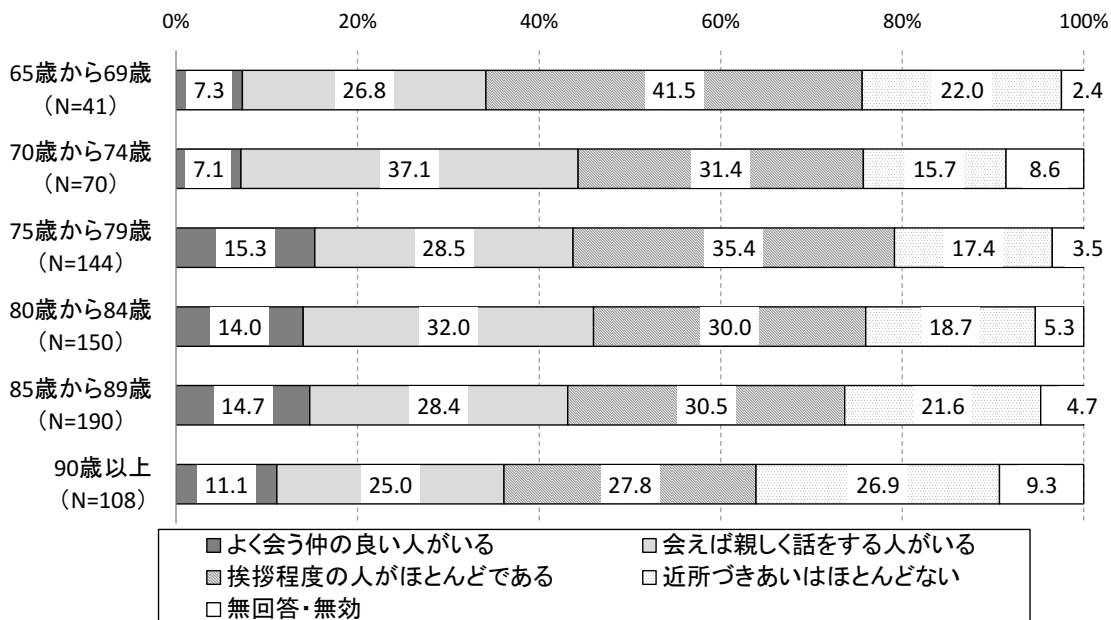
「挨拶程度の人ほとんどである」が30.3%で最も多い。これに「会えば親しく話をする人がいる」が28.6%で続く。

年齢層別では、75歳以上で「よく会う仲の良い人がいる」が10～15%程度であり、65歳～74歳までと比較して割合が高くなっている。

【近所づきあいの程度】



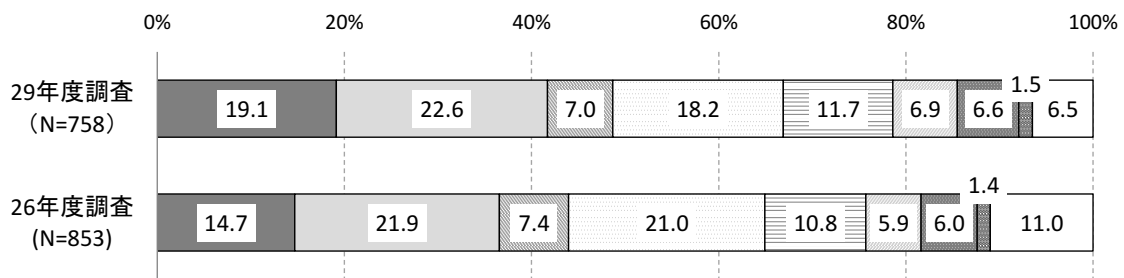
【近所づきあいの程度】



問7 現在のあなたの要介護度をご記入ください。(あてはまるもの1つに○)

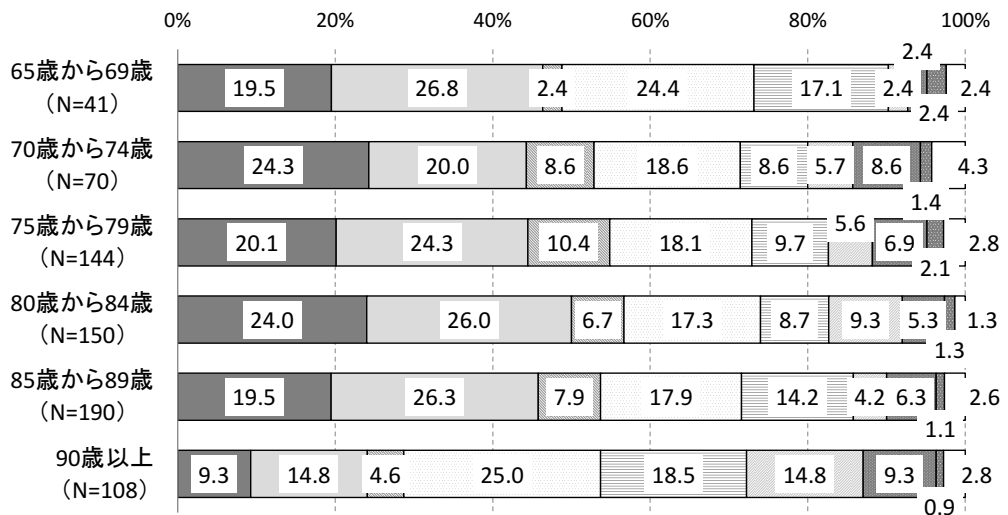
要支援1及び要支援2の合計は41.7%であり、要支援者が全体の4割余りを占めている。要介護では、要介護2が18.2%と最も割合が高く、続いて要介護3の11.7%となり、26年度調査から大きな変化は見られない。

【要介護度】



■要支援1 □要支援2 ■要介護1 □要介護2 ▨要介護3 □要介護4 ■要介護5 ■分からない □無回答・無効

【要介護度】



■要支援1 □要支援2 ■要介護1 □要介護2 ▨要介護3 □要介護4 ■要介護5 ■分からない □無回答・無効

問8 要介護認定が必要になった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

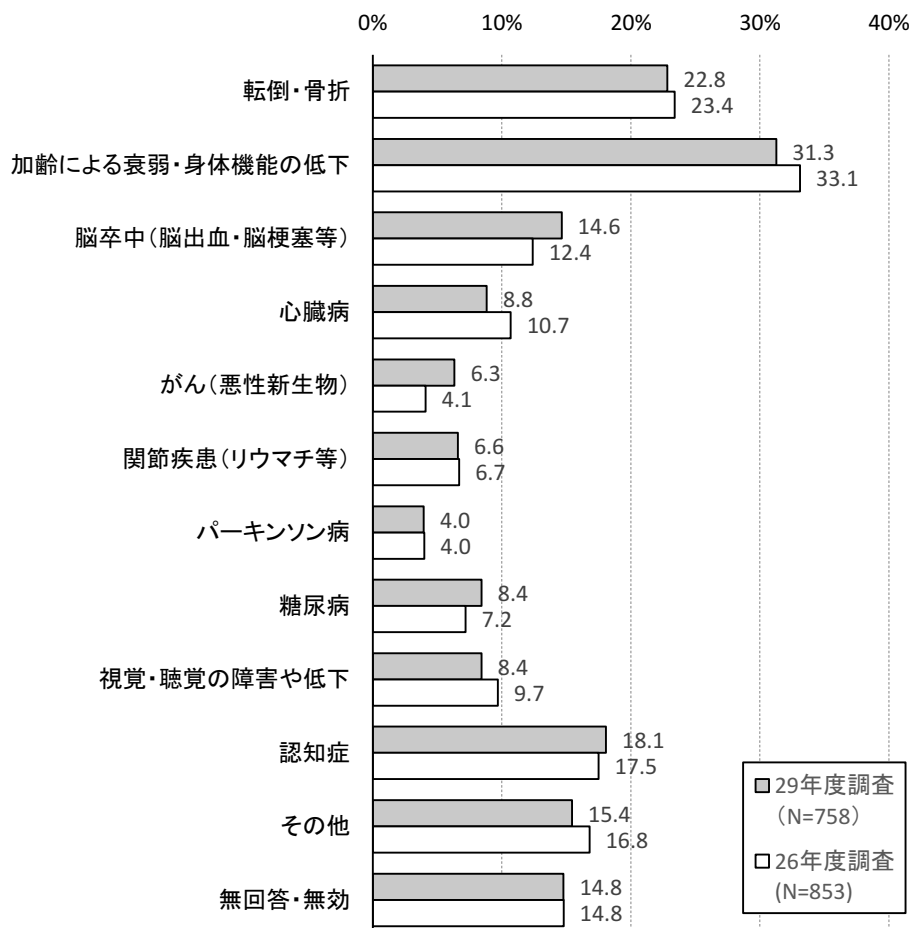
要介護認定が必要となった原因としては「加齢による衰弱・身体機能の低下」が31.3%で最も多く、これに「転倒・骨折」(22.8%)、「認知症」(18.1%)が続く。

26年度調査と同様の傾向を示す。

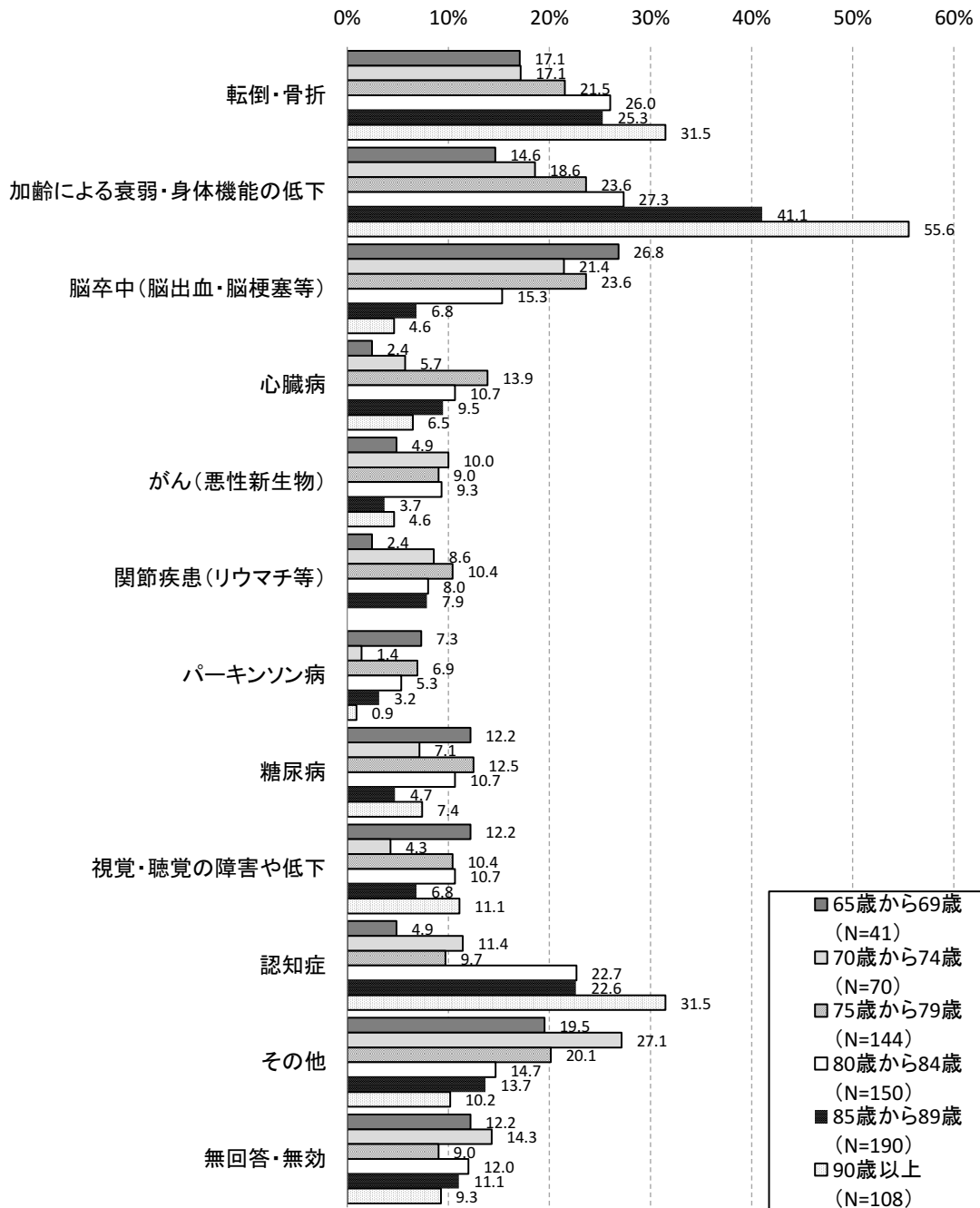
年齢層別では、65歳から79歳の層では「脳卒中」が、80歳以上の層では「加齢による衰弱・身体機能の低下」が高い。

認知症は、80歳以上で20%を超える高い割合となっている。

【要介護認定の原因】



【要介護認定の原因】



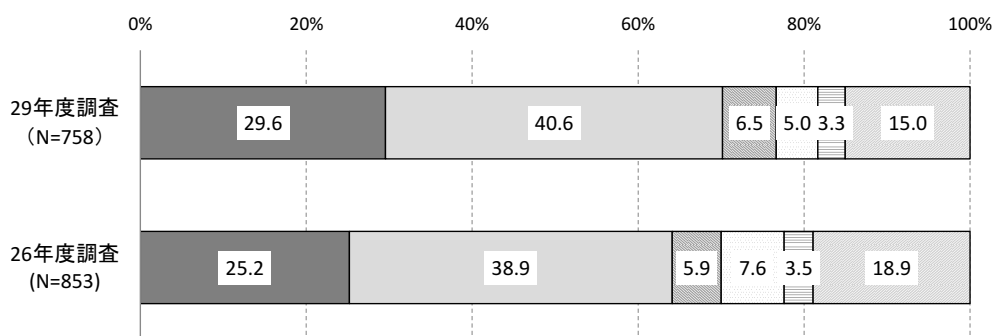
問9 あなたの要介護度は、1年前と比べてどのように変化していますか。(あてはまるもの1つに○)

「同じ要介護度である」が40.6%、「現在のほうが、要介護度が上がっている（悪くなっている）」が29.6%、「現在のほうが、要介護度が下がっている（良くなっている）」が6.5%などとなっている。

26年度調査よりも、「現在のほうが、要介護度が上がっている（悪くなっている）」が高くなっている。

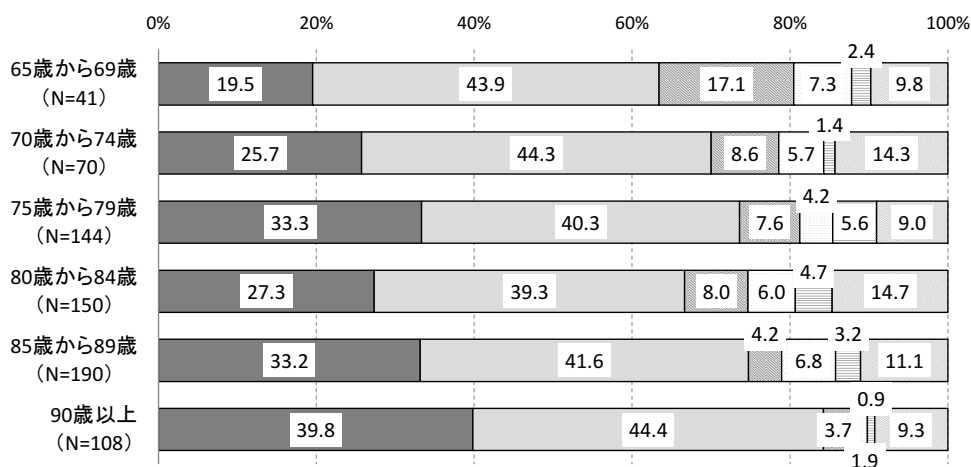
要介護度別にみると、要介護1から要介護4までは、介護度が上がるほど「現在のほうが、要介護度が上がっている」の割合が高くなる傾向になっている。

【要介護度の変化】



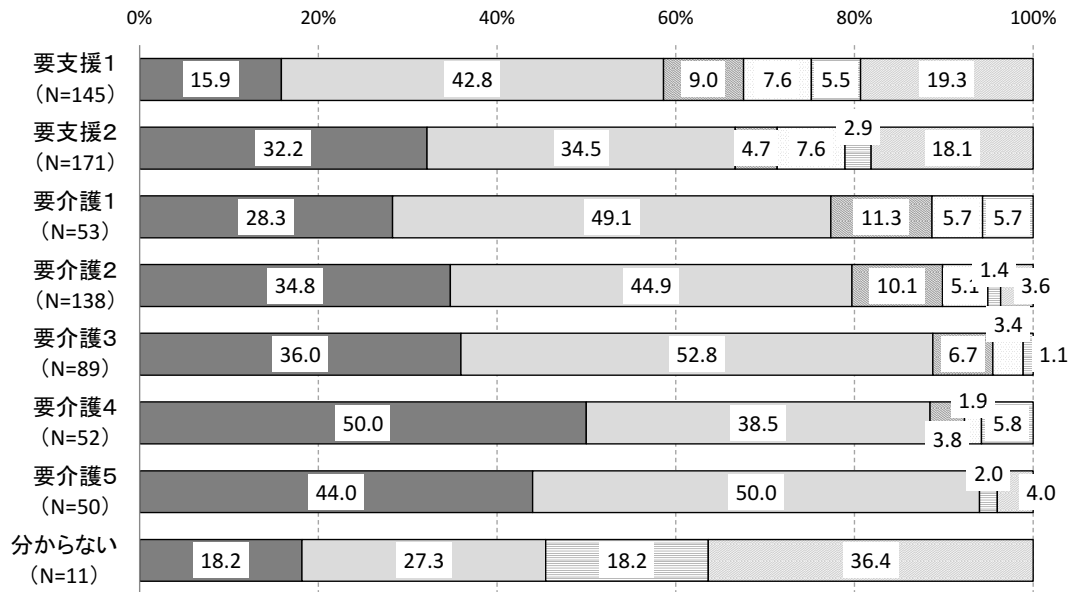
現在のほうが、要介護度が上がっている（悪くなっている）
 同じ要介護度である
 現在のほうが、要介護度が下がっている（良くなっている）
 1年前は認定を受けていない
 わからない
 無回答・無効

【要介護度の変化〈年齢別〉】



現在のほうが、要介護度が上がっている（悪くなっている）
 同じ要介護度である
 現在のほうが、要介護度が下がっている（良くなっている）
 1年前は認定を受けていない
 わからない
 無回答・無効

【要介護度の変化〈介護度別〉】



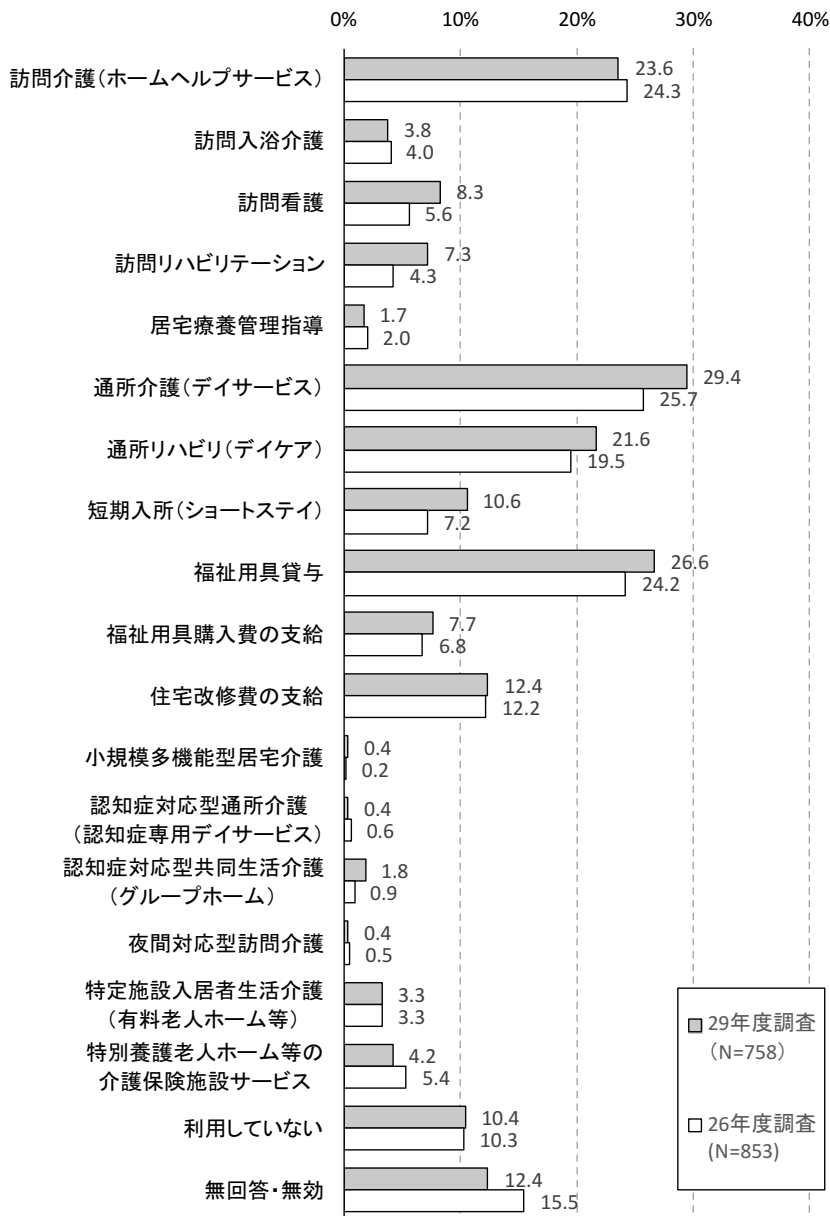
- 現在のほうが、要介護度が上がっている(悪くなっている)
- 現在のほうが、要介護度が下がっている(良くなっている)
- わからない
- 同じ要介護度である
- 1年前は認定を受けていない
- 無回答・無効

問 10 あなたは、現在どのようなサービスを利用していますか。(あてはまるものすべてに○)

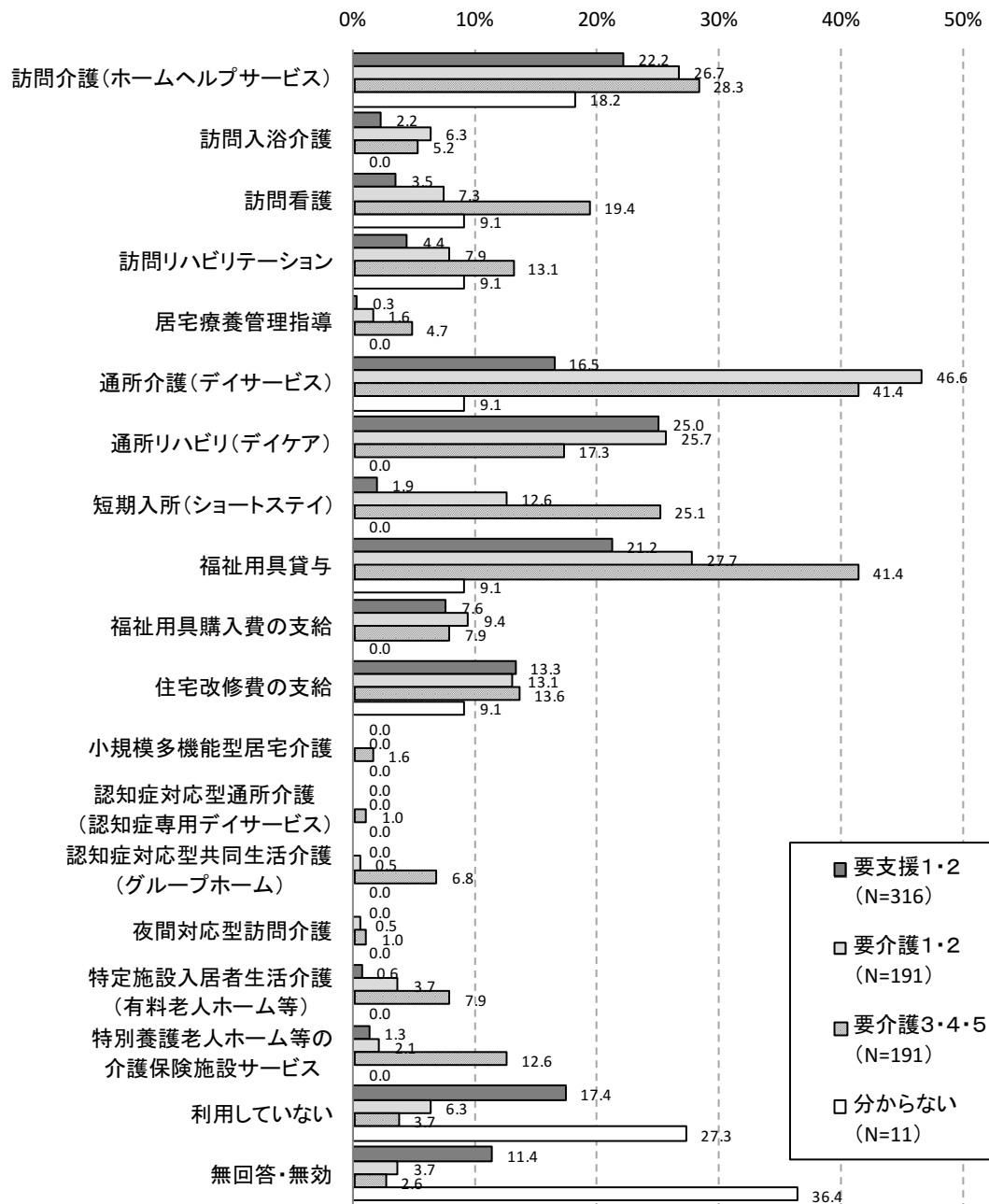
利用しているサービスとしては「通所介護（デイサービス）」(29.4%)、「福祉用具貸与」(26.6%)、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(23.6%)、「通所リハビリ（デイケア）」(21.6%)などが多い。

要介護度別にみると、「通所介護（デイサービス）」は要介護1・2以上の層で利用割合が高い。

【現在利用しているサービス】



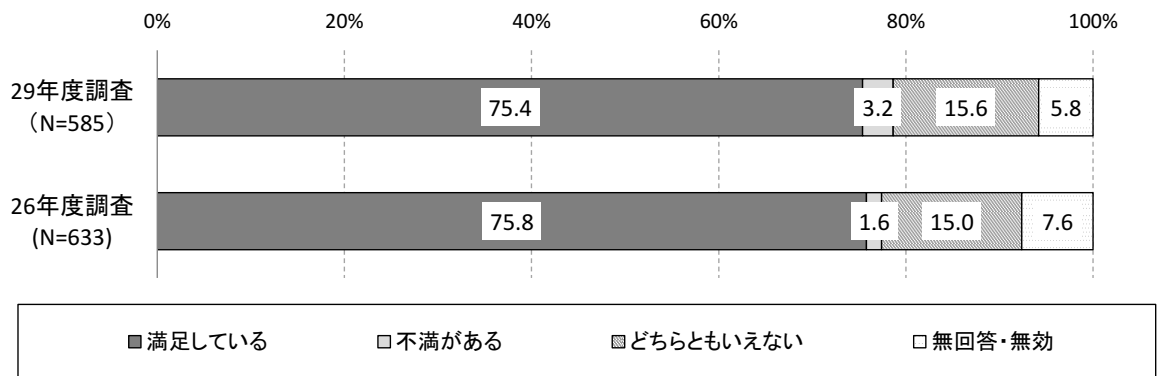
【現在利用しているサービス】



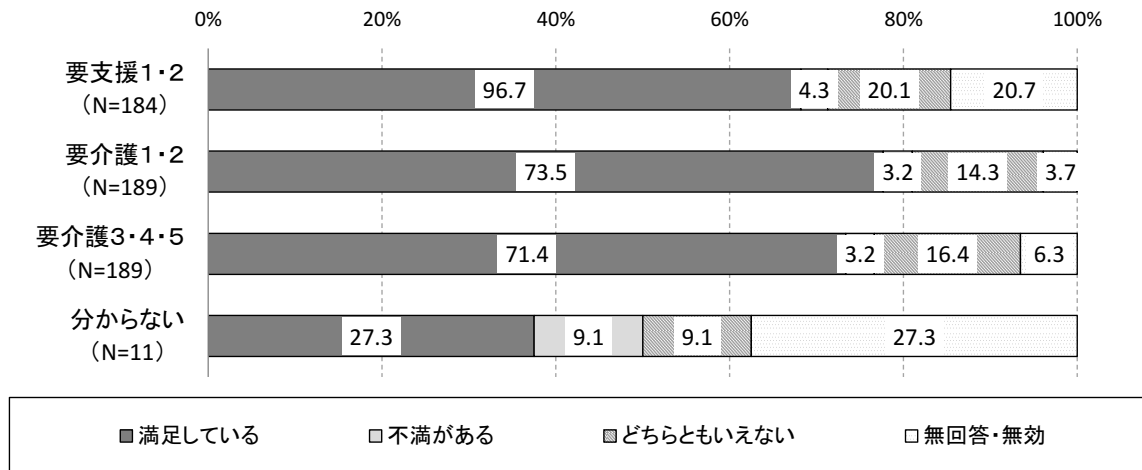
問 11 ケアマネジャーの対応に対する満足状況はいかがですか。

「満足している」(75.4%)、「どちらともいえない」(15.6%)、「不満がある」(3.2%)となっている。

【ケアマネジャー満足状況】



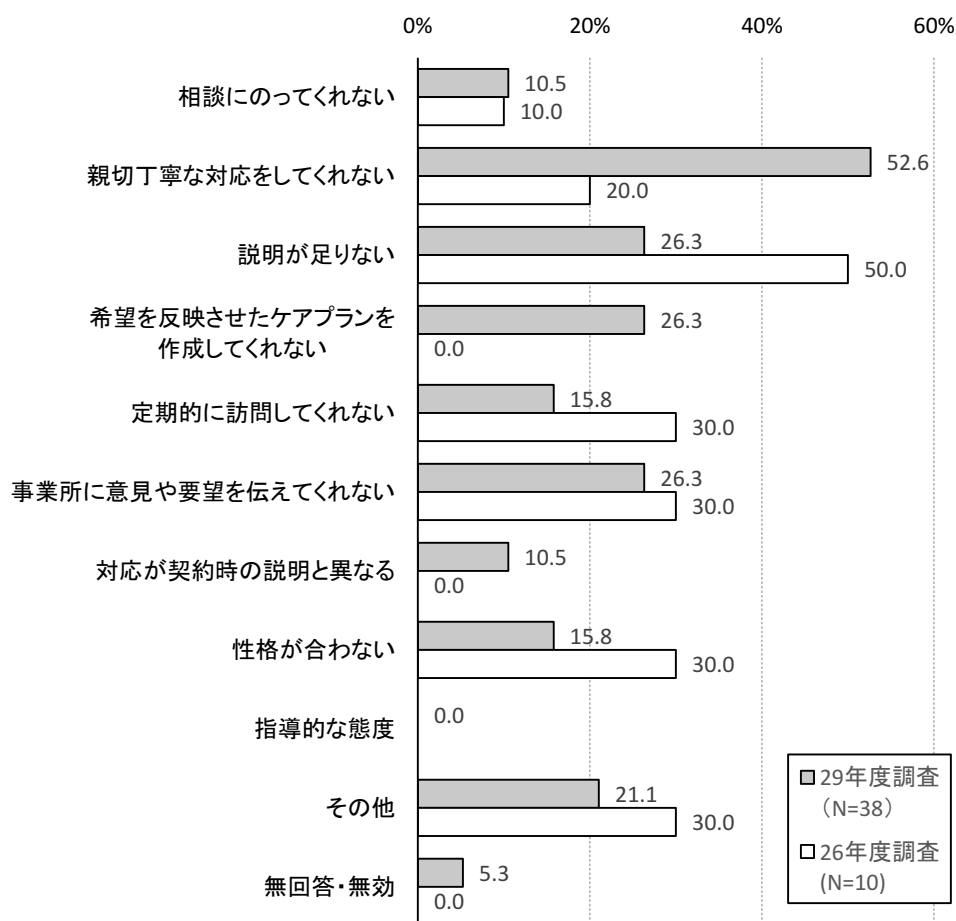
【ケアマネジャー満足状況】



問 11-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

不満がある理由としては「親切丁寧な対応をしてくれない」を半数の回答者があげている。

【ケアマネジャー不満理由】

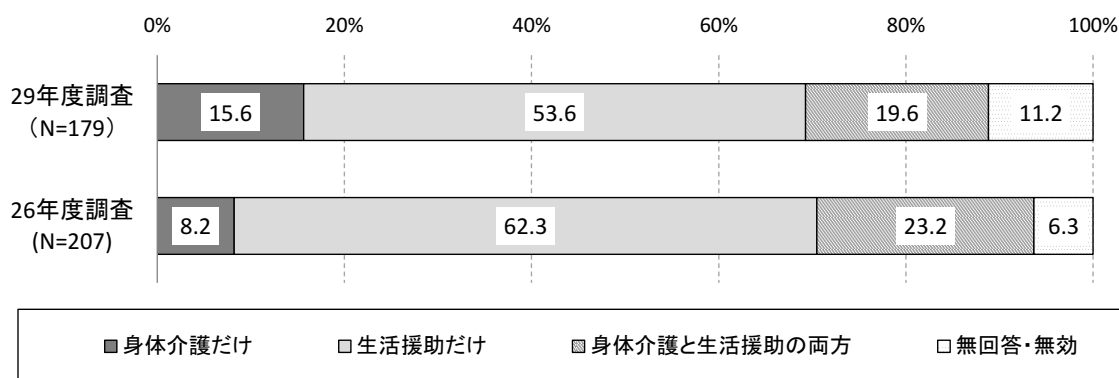


問 12 利用している訪問介護サービスの種類はどれですか。(いずれかに○)

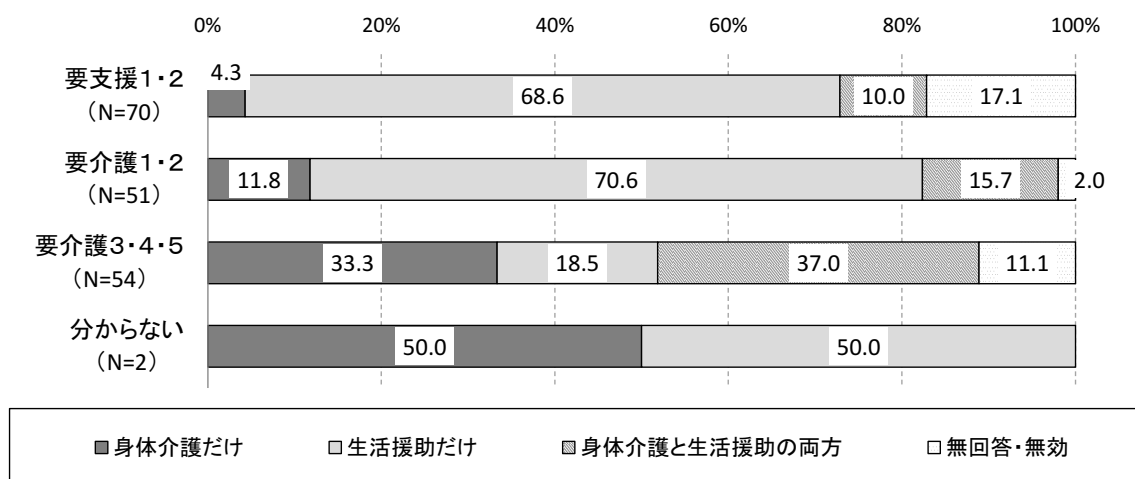
「生活援助だけ」が53.6%と最も多く、「身体介護と生活援助の両方」は19.6%、「身体介護だけ」は15.6%である。

要介護3・4・5の層では「身体介護と生活援助の両方」と「身体介護だけ」の割合が高い。

【利用している訪問介護サービス】



【利用している訪問介護サービス】

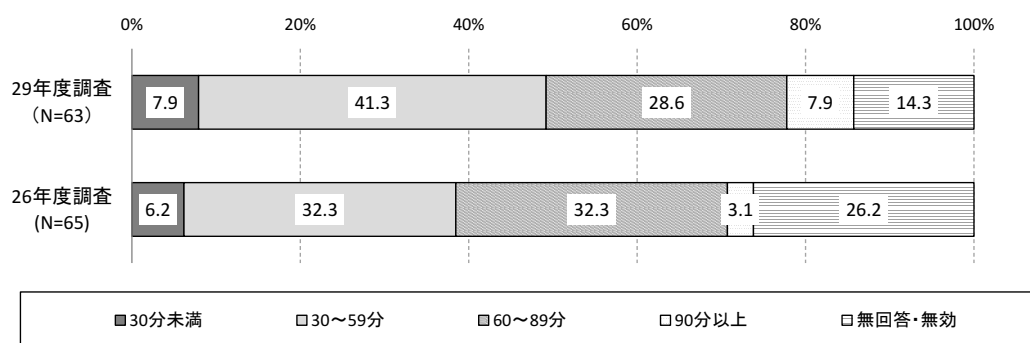


問 13 訪問介護サービスをどれくらいの時間利用していますか。

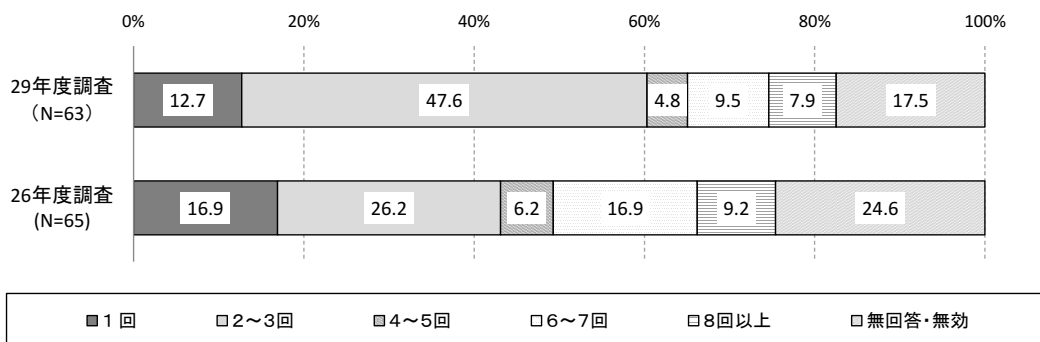
身体介護サービスを受ける1回あたりの時間は、30～59分が41.3%、60～89分が28.6%で、約2/3が30分から1時間半の範囲である。週あたりの回数では2～3回が最も多く47.6%である。

生活援助サービスでは1回あたりの時間は、60～89分が64.1%で最も多い。週あたりの回数では、1回が31.3%、2～3回が32.8%となっている。

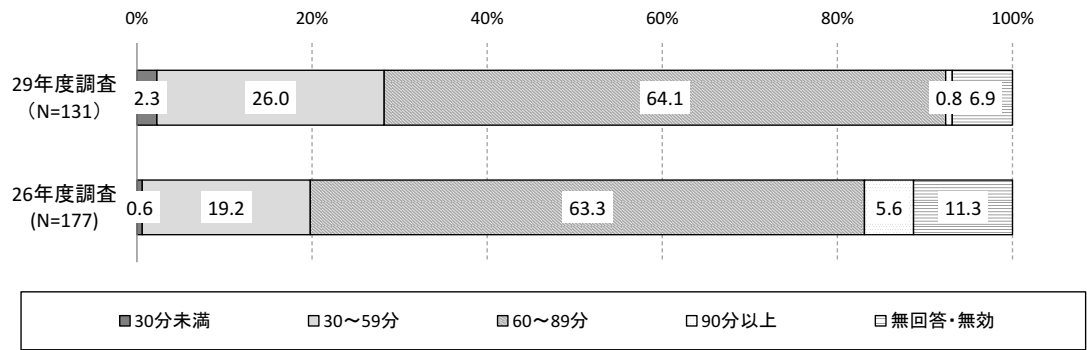
【身体介護サービスの時間（1回あたり）】



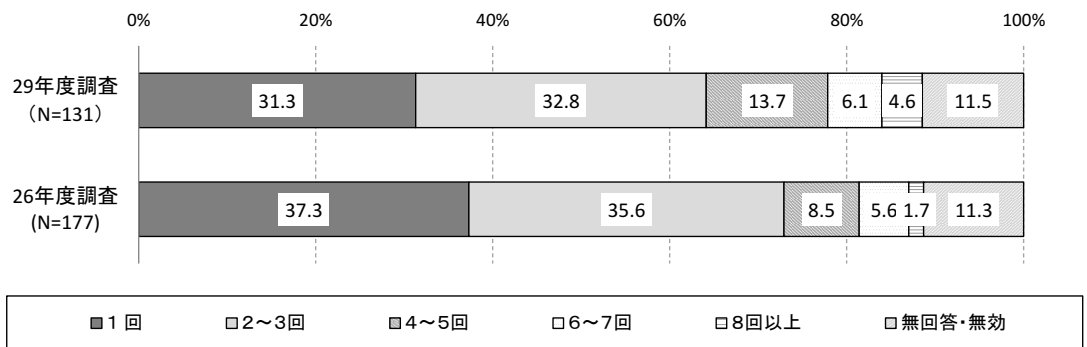
【身体介護サービスの回数（1週間あたり）】



【生活援助サービスの時間（1回あたり）】



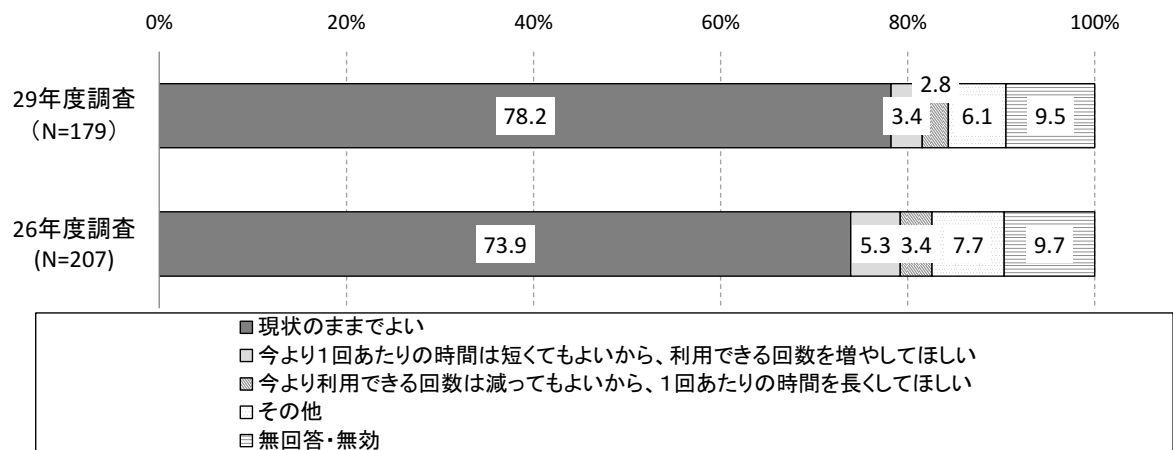
【生活援助サービスの回数（1週間あたり）】



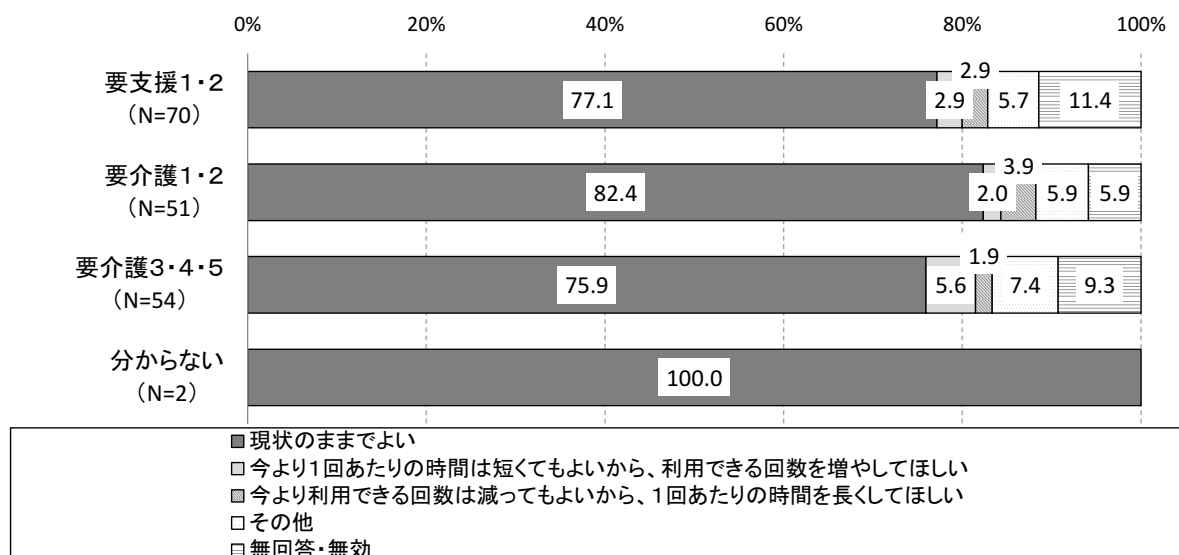
問 14 訪問介護サービスの提供時間のあり方について、あなたのお考えに近いものを選んでください。(いずれかに○)

訪問介護サービスの提供時間については、78.2%の回答者が「現状のままでよい」として
いる。

【訪問介護サービスの提供時間の在り方】



【訪問介護サービスの提供時間の在り方】

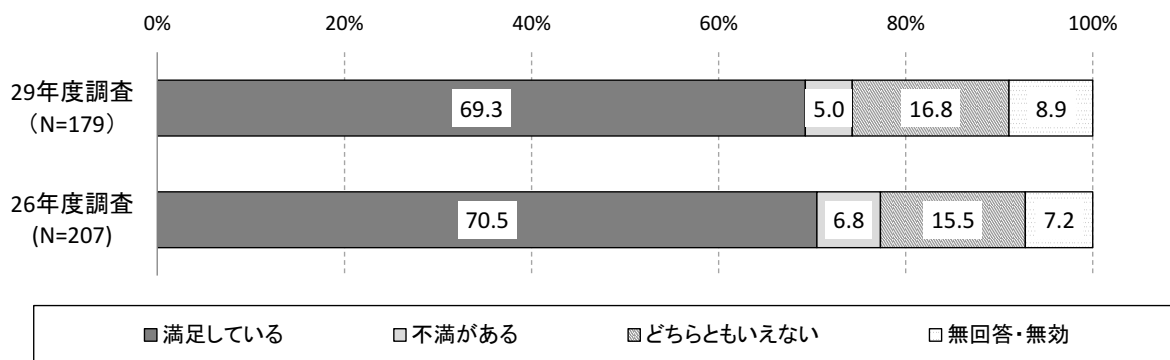


問 15 訪問介護サービスの満足状況はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

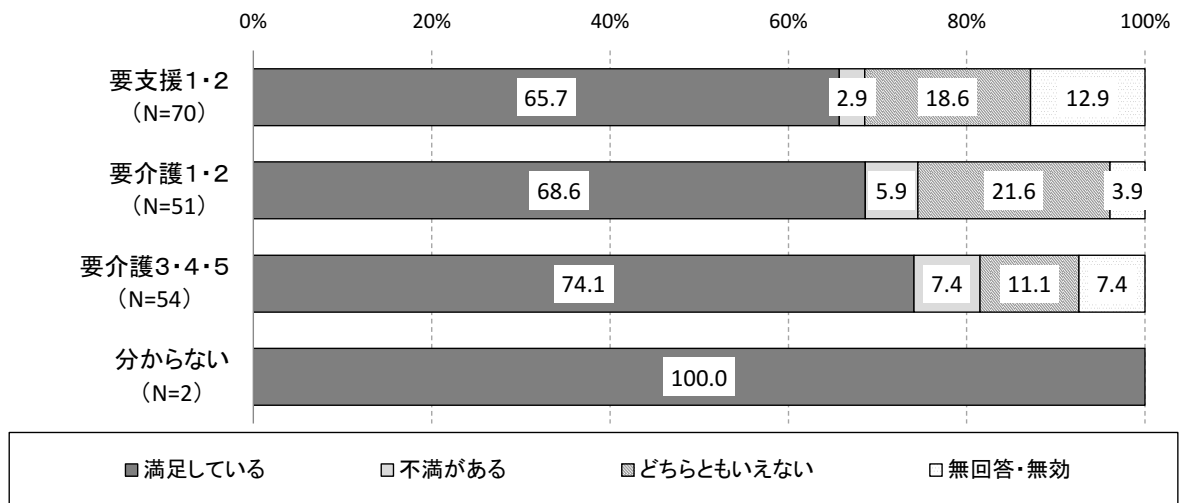
訪問介護サービスについては、「満足している」(69.3%)、「どちらともいえない」(16.8%)、「不満がある」(5.0%)となっている。

要介護3・4・5の層では「満足している」が74.1%と高いが、「不満がある」も7.4%で、他の認定区分に比べて高い。

【訪問介護サービスの満足状況】



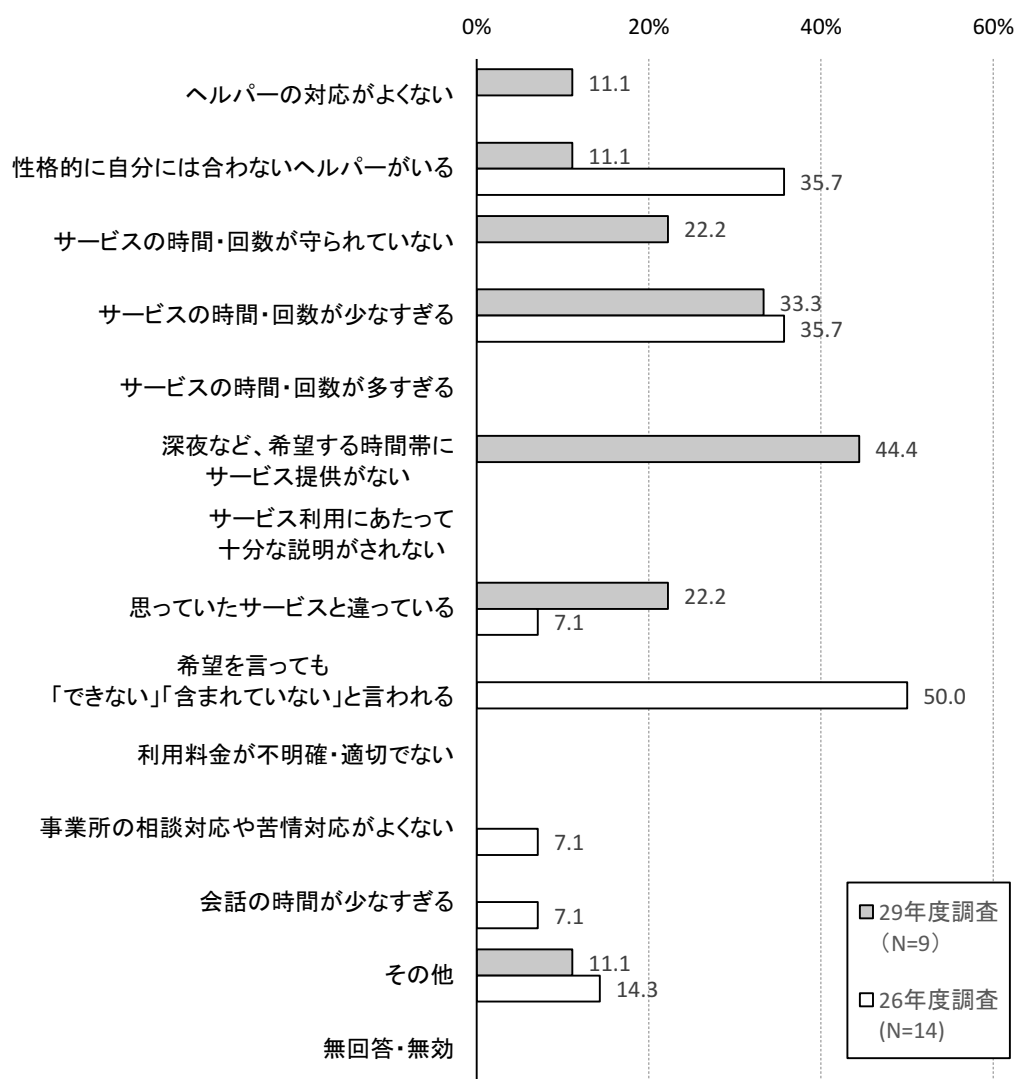
【訪問介護サービスの満足状況】



問 15-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

訪問介護サービスの不満理由としては「深夜など、希望する時間帯にサービス提供がない」が44.4%で最も多い。「サービスの時間・回数が少なすぎる」「思っていたサービスと違って」「サービスの時間・回数を守られていない」がこれに続く。

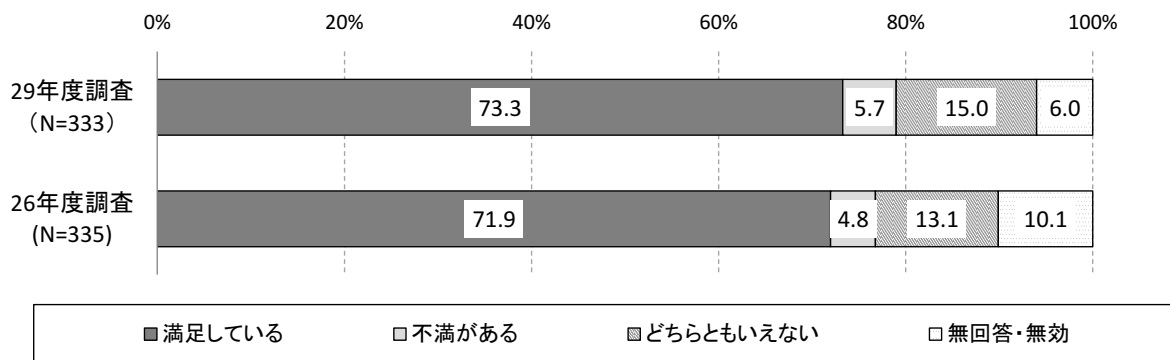
【訪問介護不満理由】



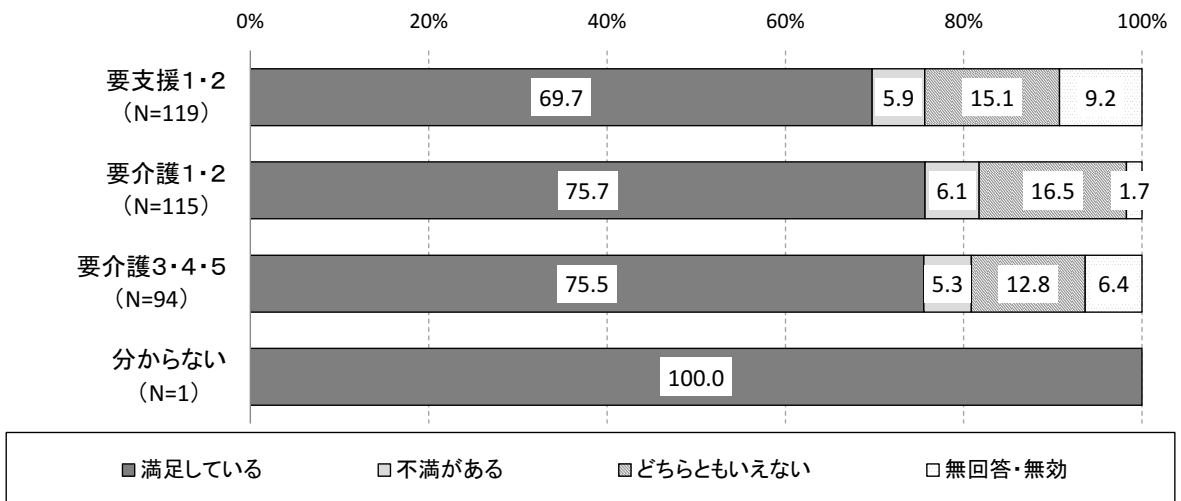
問 16 通所サービス(通所介護・通所リハビリ)の満足度はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

通所サービスについては、「満足している」(73.3%)、「どちらともいえない」(15.0%)、「不満がある」(5.7%)となっている。

【通所サービスの満足状況】



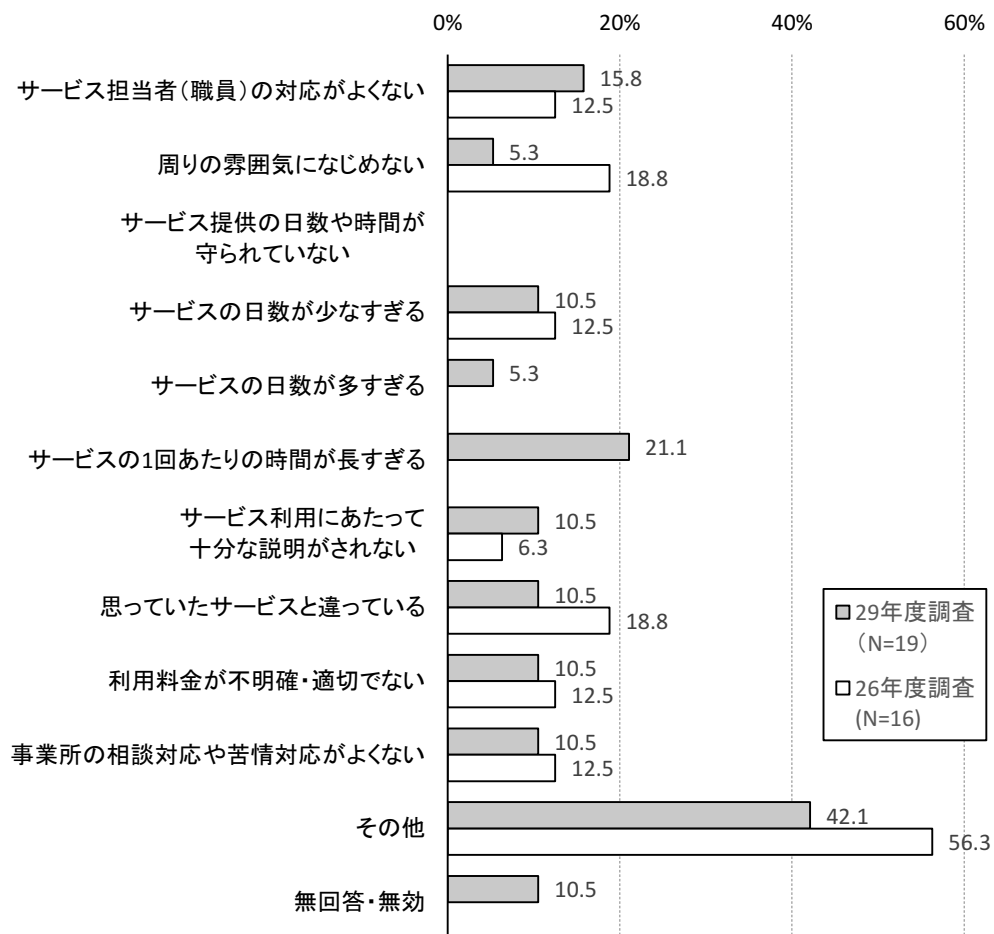
【通所サービスの満足状況】



問 16-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

通所サービスの不満理由としては、「サービスの1回あたりの時間が長すぎる」の21.1%が最も多い。

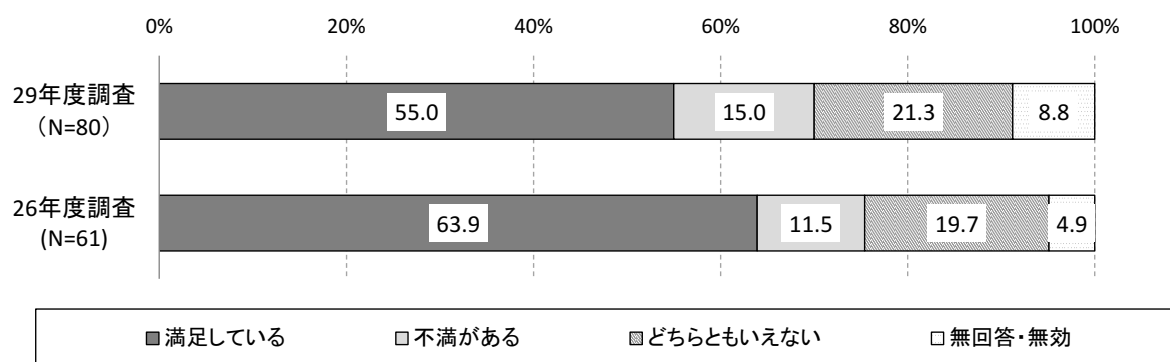
【通所サービス不満理由】



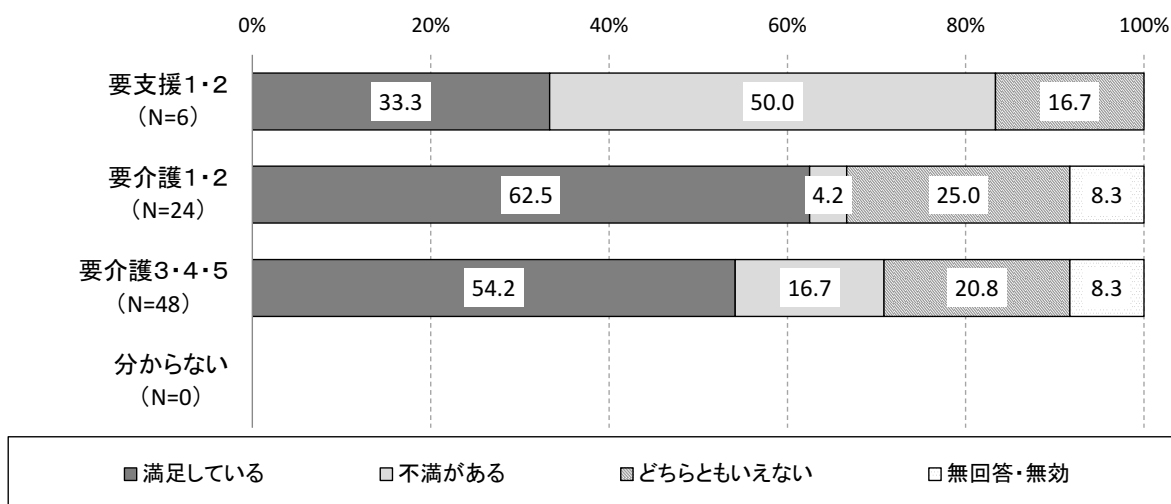
問 17 短期入所サービスの満足状況はいかがですか。(あてはまるもの1つに○)

短期入所サービスについては、「満足している」(55.0%)、「どちらともいえない」(21.3%)、「不満がある」(15.0%)となっており、訪問介護、通所サービスと比べると「不満がある」の割合が比較的高い。

【短期入所サービスの満足状況】



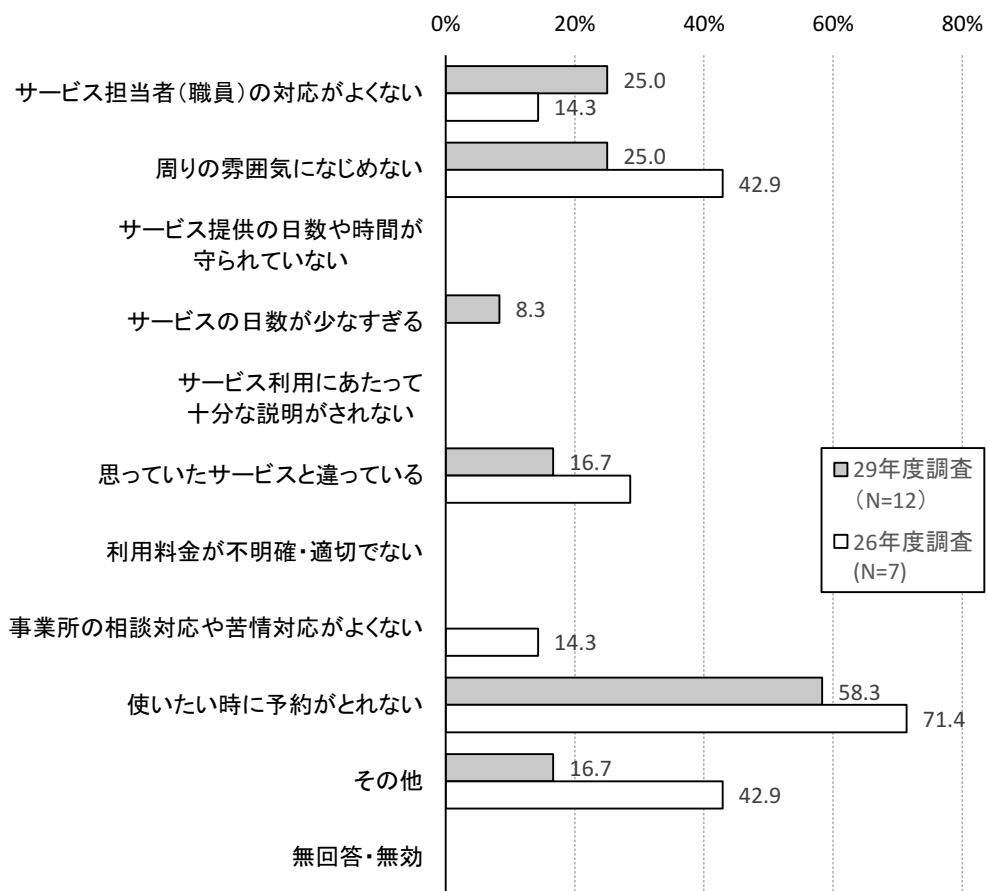
【短期入所サービスの満足状況】



問 17-1 前問で、「2. 不満がある」と回答した方におたずねします。不満の理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

短期入所サービスの不満理由としては「使いたい時に予約がとれない」が58.3%で最も多い。これに「サービス担当者（職員）の対応がよくない」と「周りの雰囲気になじめない」がともに25.0%で続く。

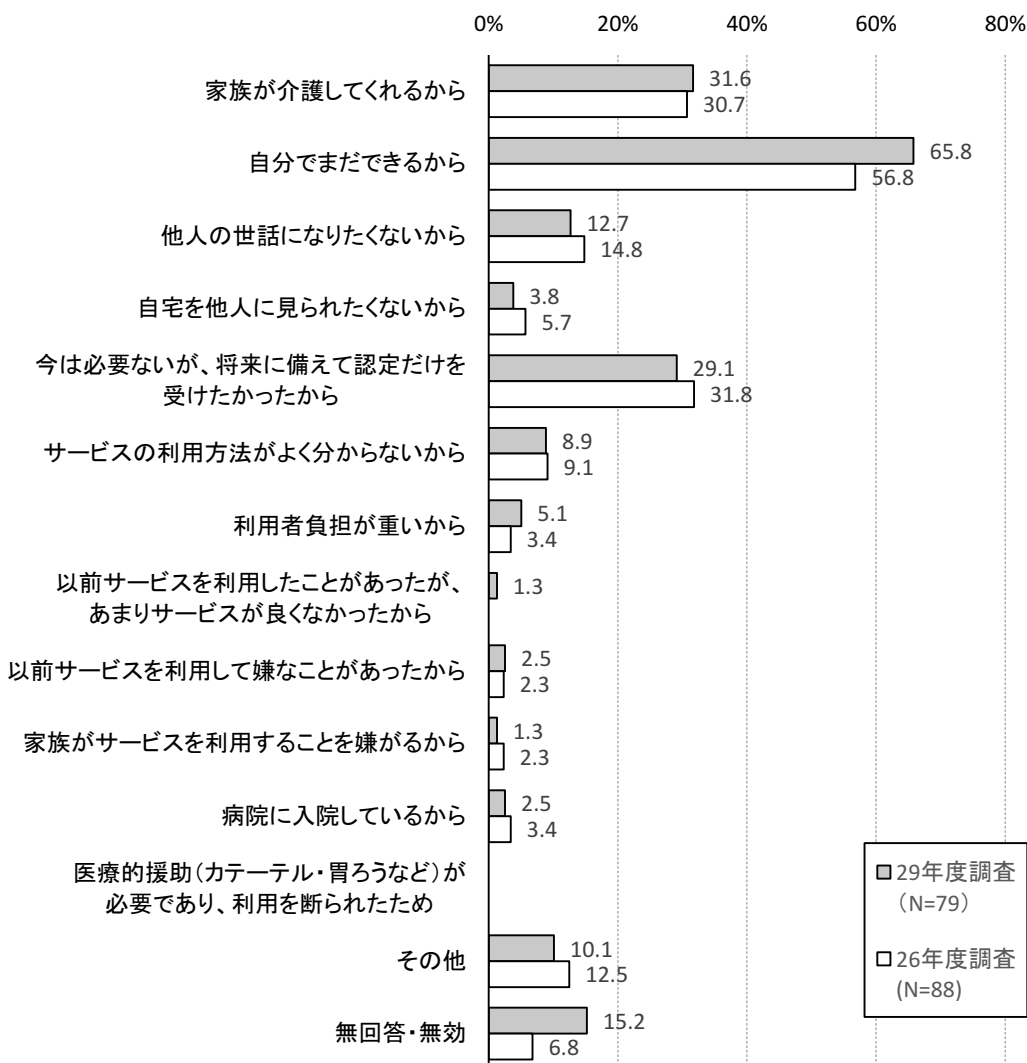
【短期入所サービス不満理由】



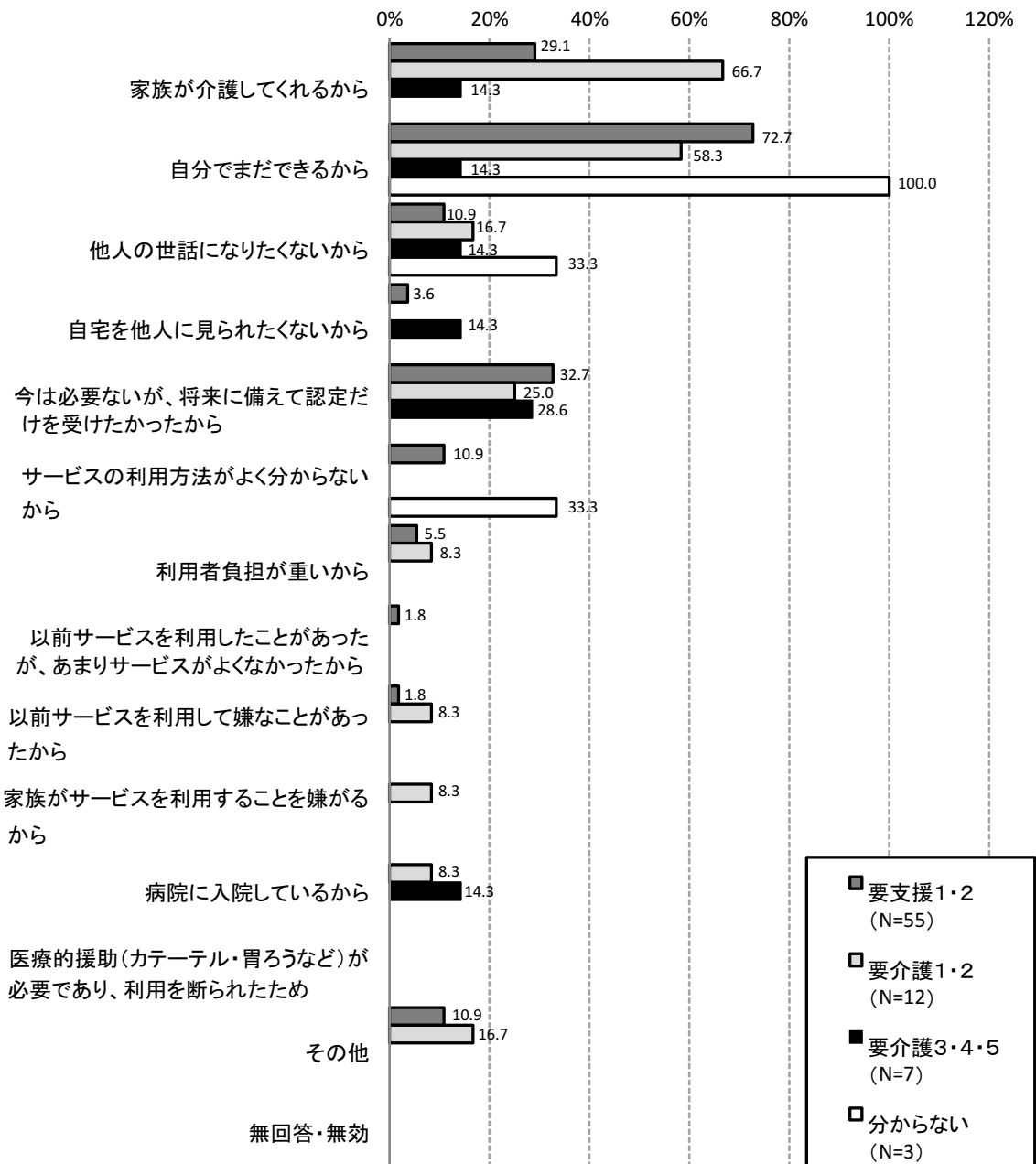
問 18 問 10 で、「18. 利用していない」と回答された方におたずねします。介護保険サービスを利用していない主な理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

認定を受けているにもかかわらず、介護保険サービスを利用していない理由としては、「自分でまだできるから」が65.8%で最も多い。これに「家族が介護してくれるから」(31.6%)、「今は必要ないが、将来に備えて認定だけを受けたかったから」(29.1%)などが続く。

【介護保険サービス未利用理由】



【介護保険サービス未利用理由】

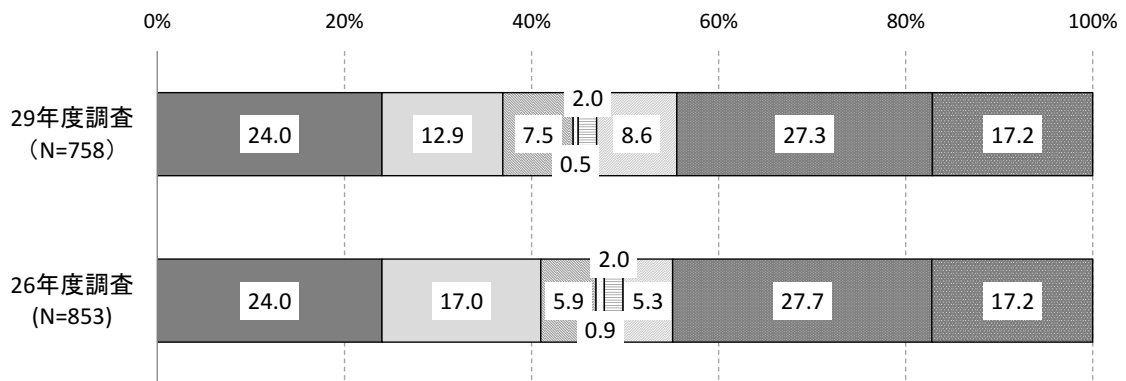


問 19 あなたは、今後、どのように暮らしたいとお考えですか。(あてはまるもの1つに○)

今後の暮らし方については「今は分からない」(27.3%)が最も高い。次いで「自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」(24.0%)や「自宅で家族などによる介護を受けながら暮らしたい」(12.9%)が続き、いずれも在宅での介護を望んでいる。

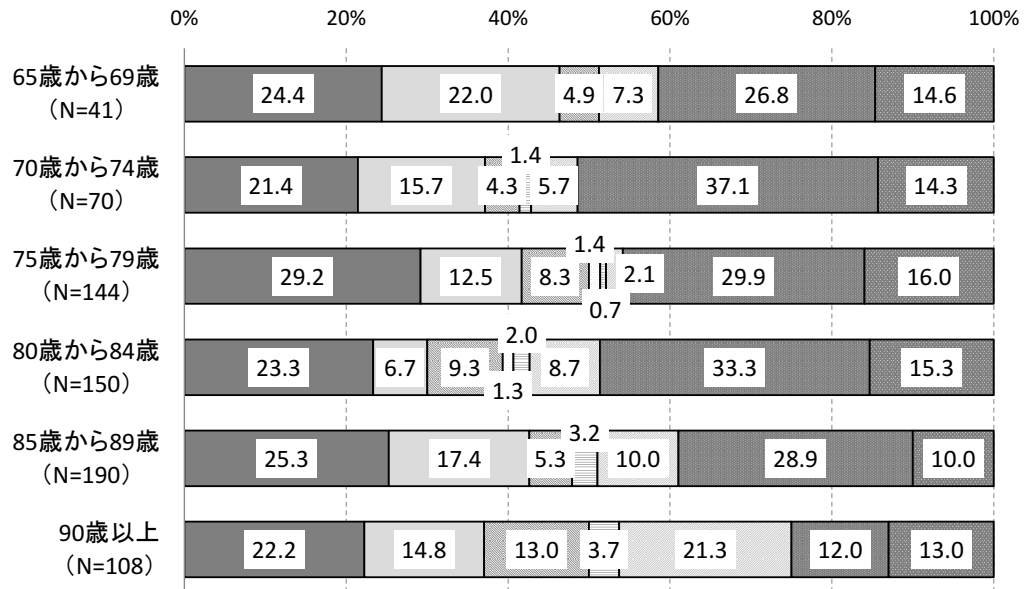
問 10 でみた、何らかのサービスを利用している層と利用していない層に分けてみると、利用していない層では「今は分からない」(38.0%)に次いで、「自宅で家族などによる介護を受けながら暮らしたい」「自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」が 19.0%と高くなっている。

【今後の暮らし方】



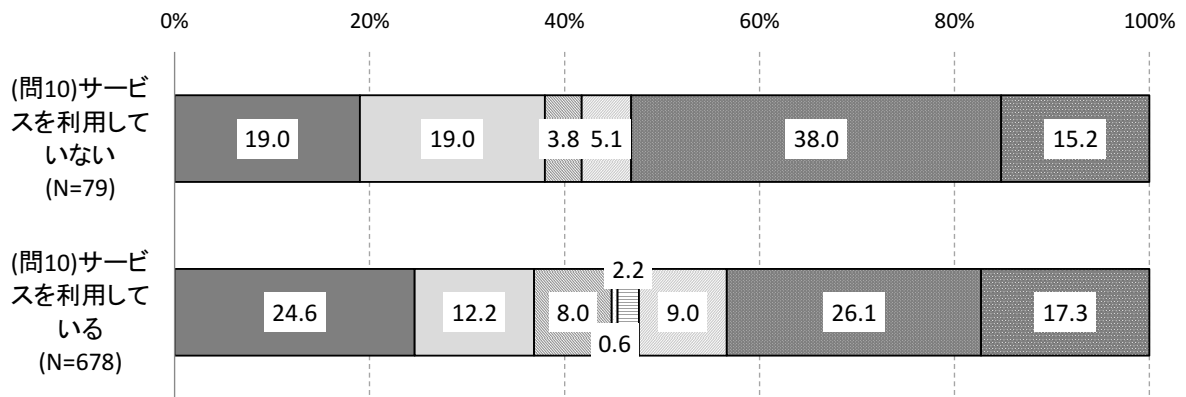
- 自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
- 自宅で家族などによる介護を受けながら暮らしたい
- できるだけ自宅に近い特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい
- 自宅から遠くてもいいので特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい
- サービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどで暮らしたい
- このまま施設での生活を続けたい
- 今は分からない
- 無回答・無効

【今後の暮らし方】



- 自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
- 自宅で家族などによる介護を受けながら暮らしたい
- できるだけ自宅に近い特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい
- 自宅から遠くてもいいので特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい
- サービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどで暮らしたい
- このまま施設での生活を続けたい
- 今は分からない
- 無回答・無効

【今後の暮らし方】

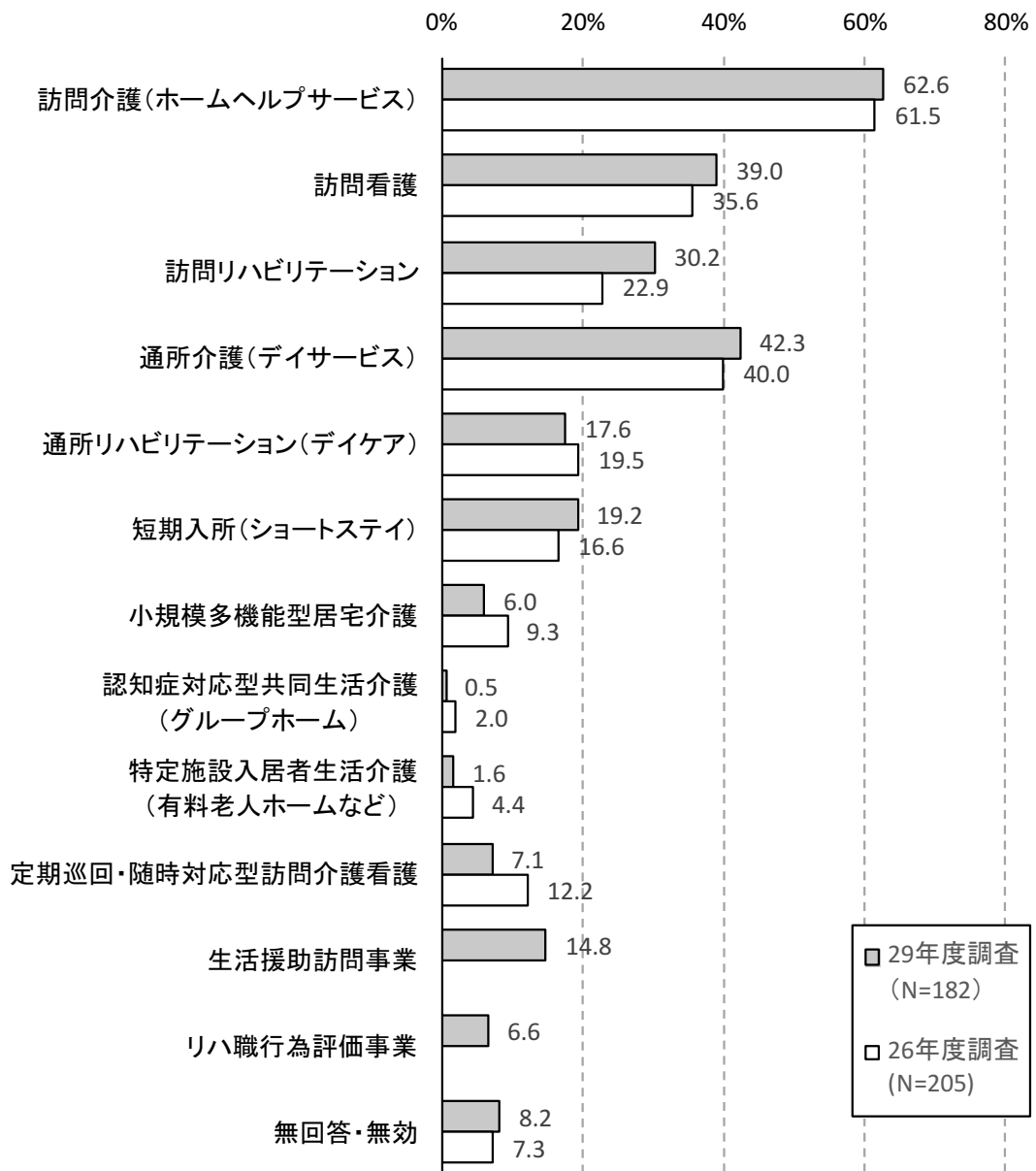


- 自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら暮らしたい
- 自宅で家族などによる介護を受けながら暮らしたい
- できるだけ自宅に近い特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい
- 自宅から遠くてもいいので特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい
- サービス付高齢者向け住宅や有料老人ホームなどで暮らしたい
- このまま施設での生活を続けたい
- 今は分からない
- 無回答・無効

問 19-1 前問で、「1. 自宅でホームヘルプ等の在宅介護サービスを受けながら暮らしたい」と回答された方におたずねします。どんな介護サービスを受けたいとお考えですか。(あてはまるものすべてに○)

介護サービスを受けたいとする回答者が求めるサービスとして「訪問介護（ホームヘルプサービス）」(62.6%)が高く、「通所介護（デイサービス）」(42.3%)、「訪問看護」(39.0%)がこれに続く。

【受けたいサービス】

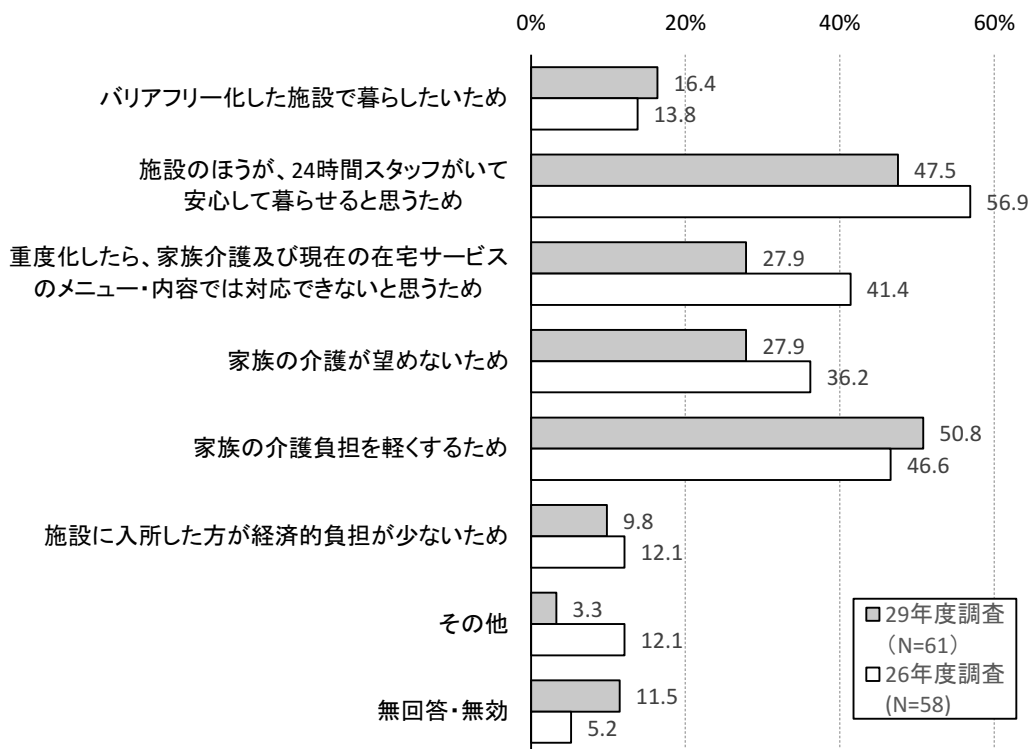


問 19-2 問19で、「3. できるだけ自宅に近い特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい」または「4. 自宅から遠くてもいいので特別養護老人ホーム等の施設で暮らしたい」と回答された方におたずねします。介護保険施設に入所したい理由として、あなたのお考えに近いものを選んでください。(あてはまるものすべてに○)

施設入所を希望する理由としては「家族の介護負担を軽くするため」(50.8%)が最も高く、これに、「施設のほうが、24時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため」(47.5%)、「重度化したら、家族介護及び現在の在宅サービスのメニュー・内容では対応できないと思うため」(27.9%)、「家族の介護が望めないため」(27.9%)が続く。

26年度調査と比較すると「施設のほうが、24時間スタッフがいて安心して暮らせると思うため」が9.4ポイント下がり、「重度化したら、家族介護及び現在の在宅サービスのメニュー・内容では対応できないと思うため」が13.5ポイント下がった。一方、「家族の介護負担を軽くするため」が4.2ポイント上がった。

【介護保険施設への入所希望理由】



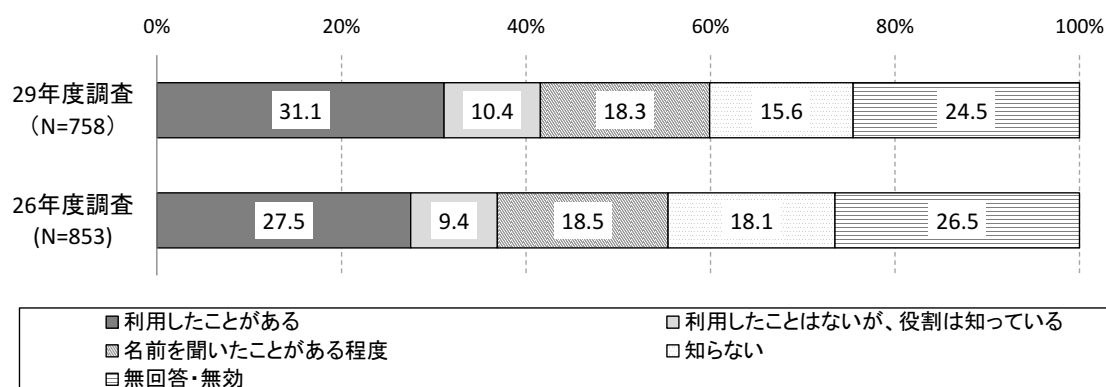
問 20 高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)を知っていますか。(あてはまるもの1つに○)

高齢者サポートセンター(地域包括支援センター)を「利用したことがある」は31.1%、「利用したことはないが、役割は知っている」は10.4%で、周知・理解している割合は41.5%である。これに「名前を聞いたことがある程度」(18.3%)を加えると59.8%の回答者が少なくとも名称だけは知っていることになる。

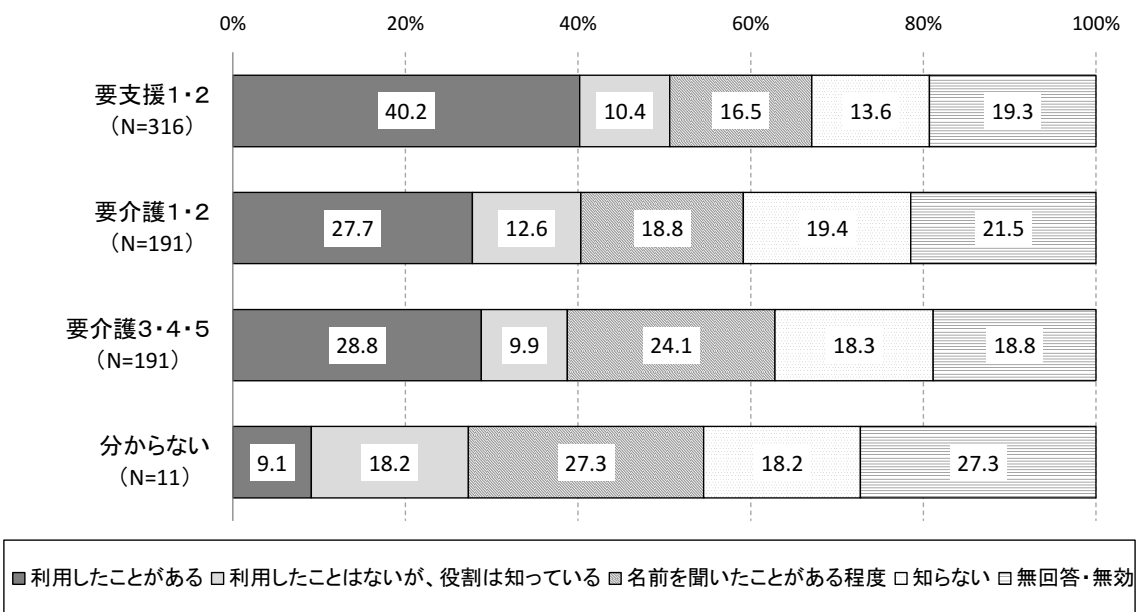
26年度調査と比較すると「利用したことがある」が3.6ポイント高くなっている

要介護度が軽いほど知っている割合(「利用したことがある」と「利用したことはないが、役割は知っている」の合計値)が高い。また要支援1・2の層では40.2%が「利用したことがある」としている。

【高齢者サポートセンター認知度】



【高齢者サポートセンター認知度】

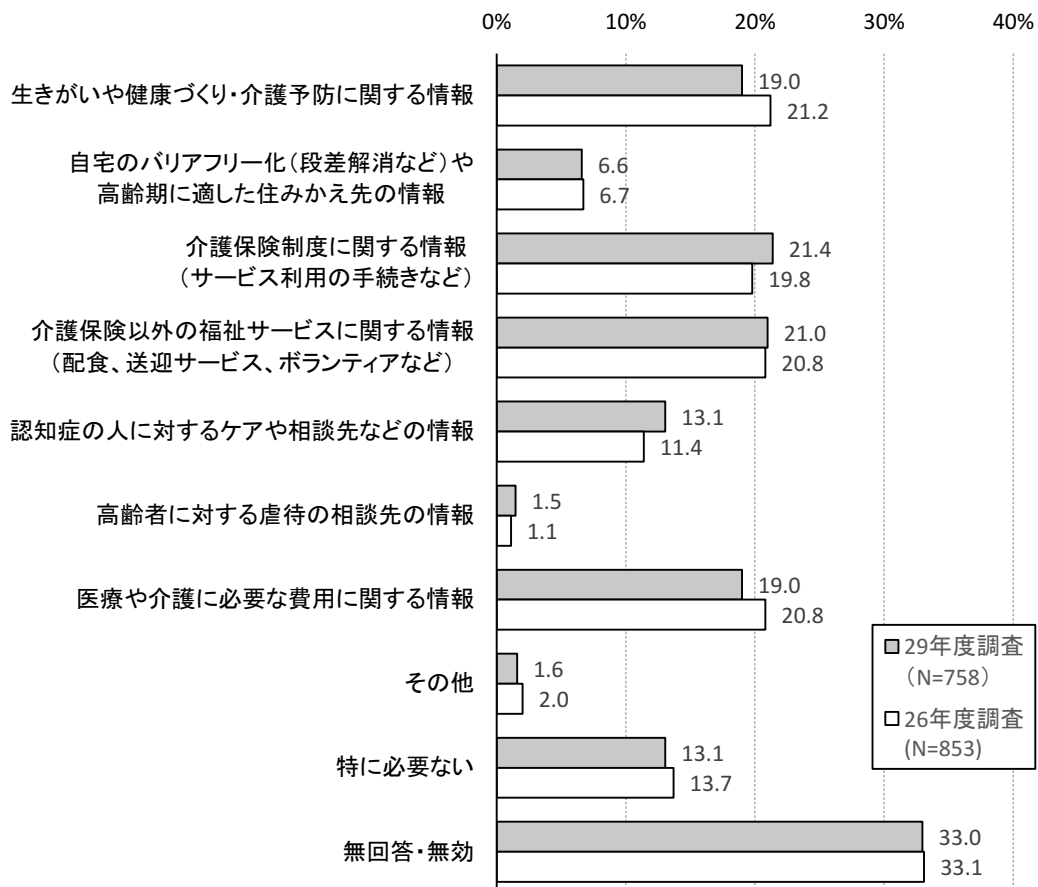


問 21 あなたは、介護や保健、医療等に関することで、どのような情報がほしいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

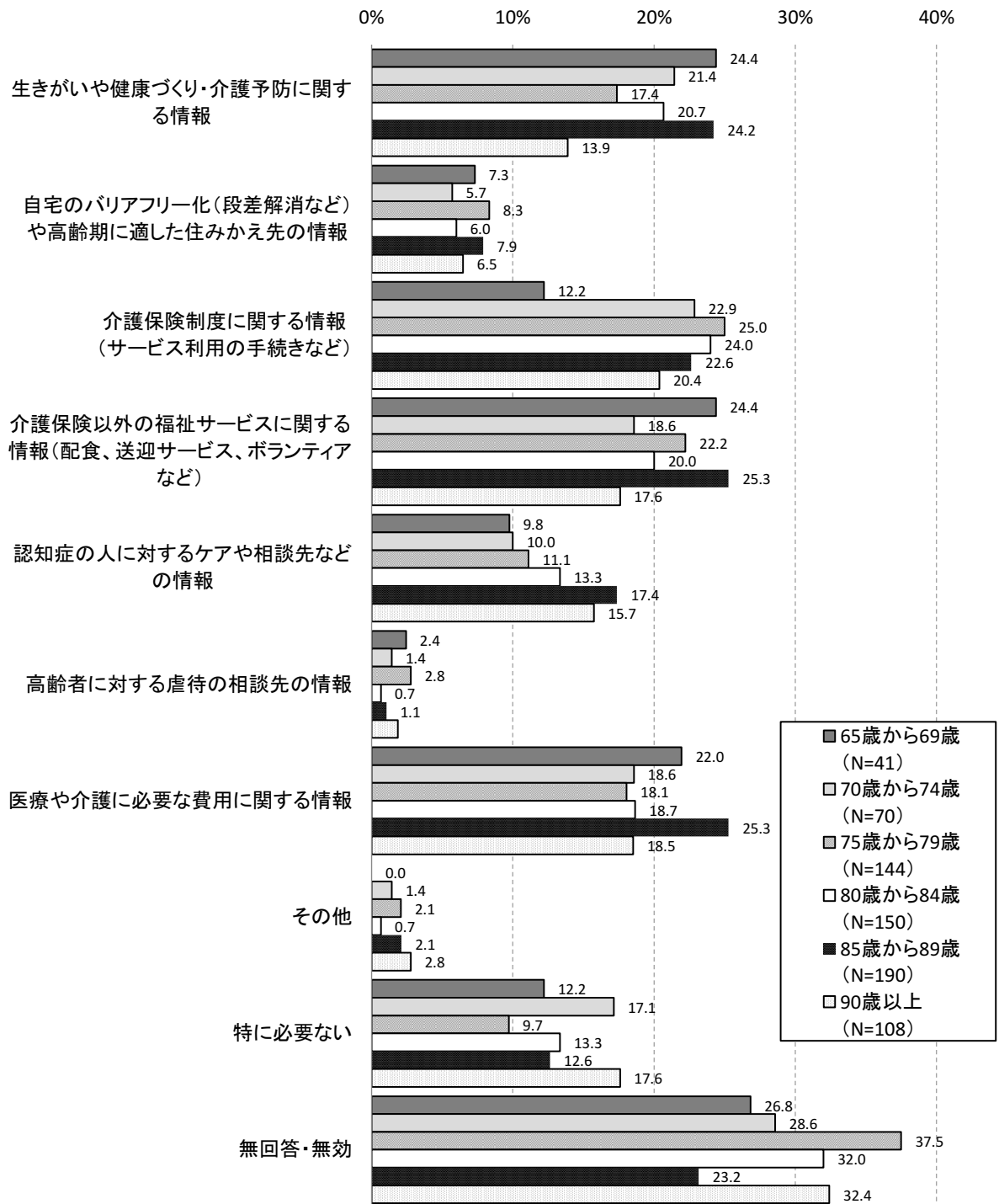
介護や保健、医療に関して求められている情報は「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」(21.4%)、「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」(21.0%)が上位で20%を超えている。

前述した項目について年齢層別に最も高い層をみると「介護保険制度に関する情報（サービス利用の手続きなど）」は75歳から79歳の層、「介護保険以外の福祉サービスに関する情報（配食、送迎サービス、ボランティアなど）」は85歳から89歳の層になっている。

【介護や保健・医療についてほしい情報】



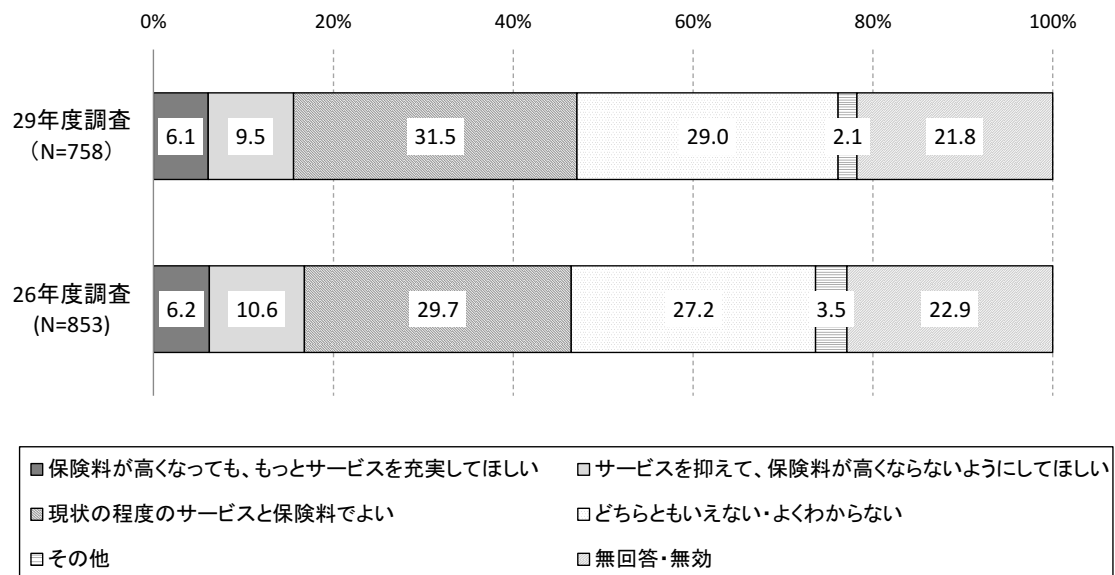
【介護や保健・医療についてほしい情報】



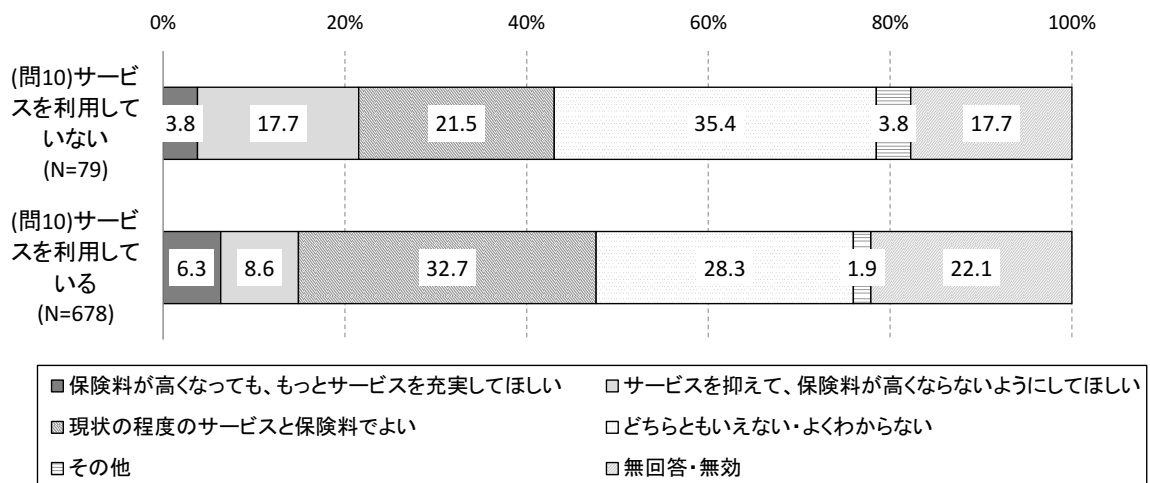
問 22 介護保険は、入所施設を増やしたり、サービスの利用が多くなるなど、サービスが充実すると、介護保険料も高くなることとなります。あなたは、今後の介護サービスと介護保険料についてどのように考えますか。(あてはまるもの1つに○)

介護保険料と介護サービスについての関係については「現状の程度のサービスと保険料でよい」が31.5%で、これに「どちらともいえない・よくわからない」の29.0%が続く。「サービスを抑えて、保険料が高くなるようにしてほしい」は9.5%、「保険料が高くなっても、もっとサービスを充実してほしい」は6.1%である。

【介護保険料と介護サービスについて】



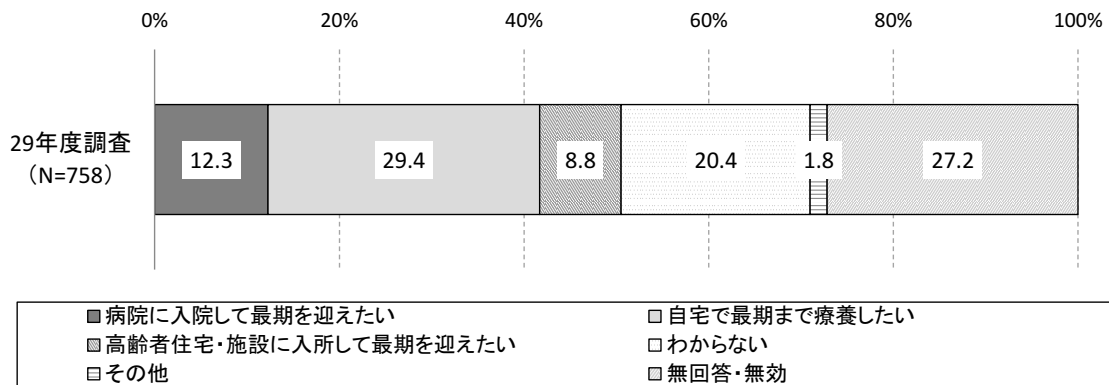
【介護保険料と介護サービスについて】



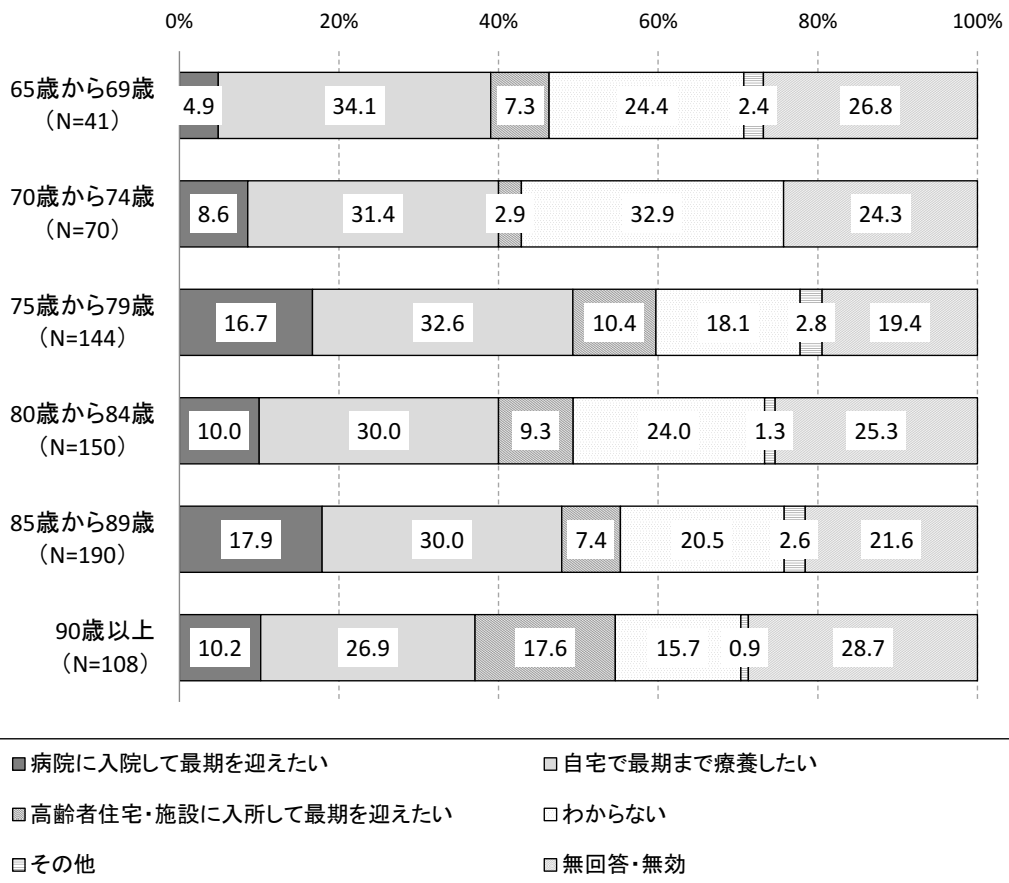
問 23 あなたは最期まで自分らしく過ごすために、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(あてはまるもの1つに○)

人生の最期の場所については「自宅で最期まで療養したい」(29.4%)が最も多く、「わからない」(20.4%)と続く。

【人生の最期の場所】



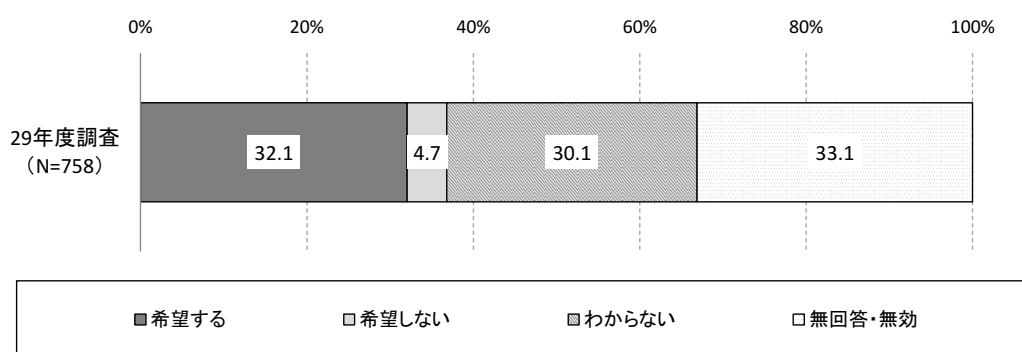
【人生の最期の場所】



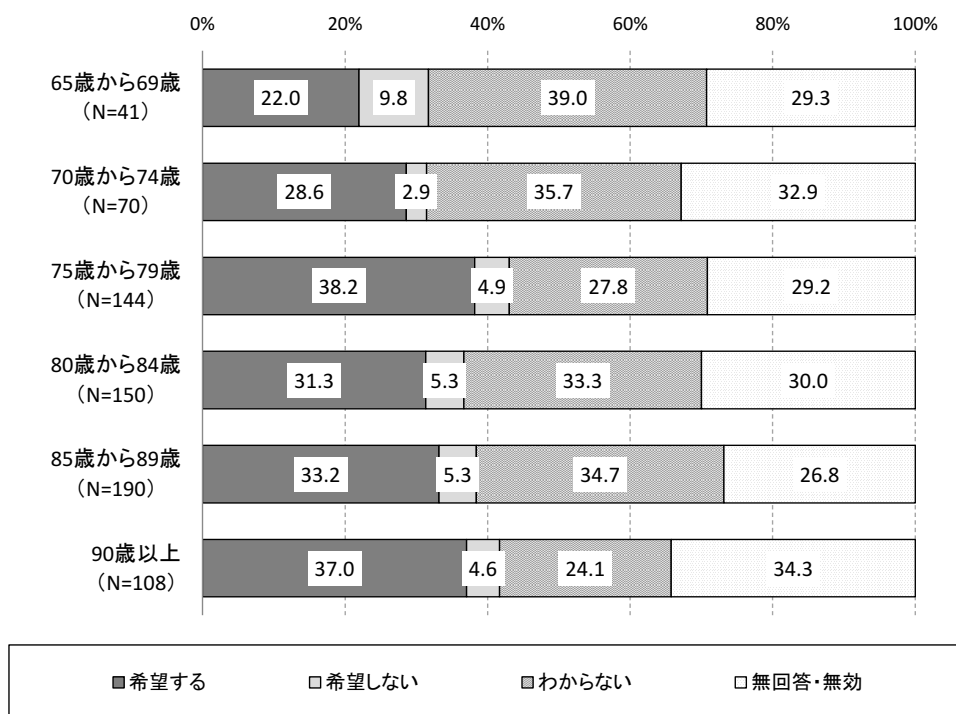
問 24 最期を迎えることができる環境(訪問診療、訪問看護、緊急時の対応など)が整っていれば、病院以外の生活の場で最期を迎えたいと希望しますか。(あてはまるもの1つに○)

病院以外での生活の希望については「希望する」(32.1%)が最も多く、「わからない」(30.1%)と続く。年齢層別にみると、概ね年齢層が高くなるごとに「希望する」が高くなっている。

【病院以外での生活の希望】



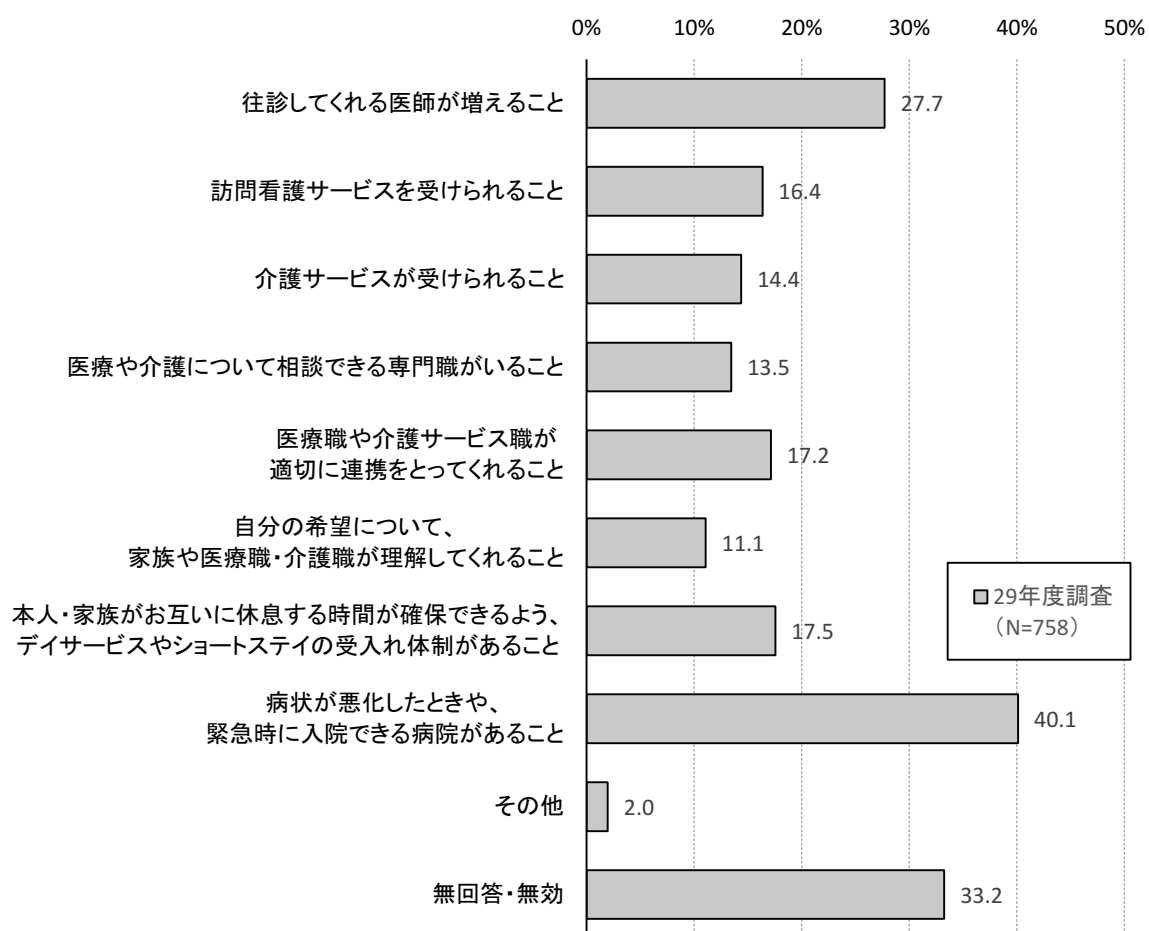
【病院以外での生活の希望】



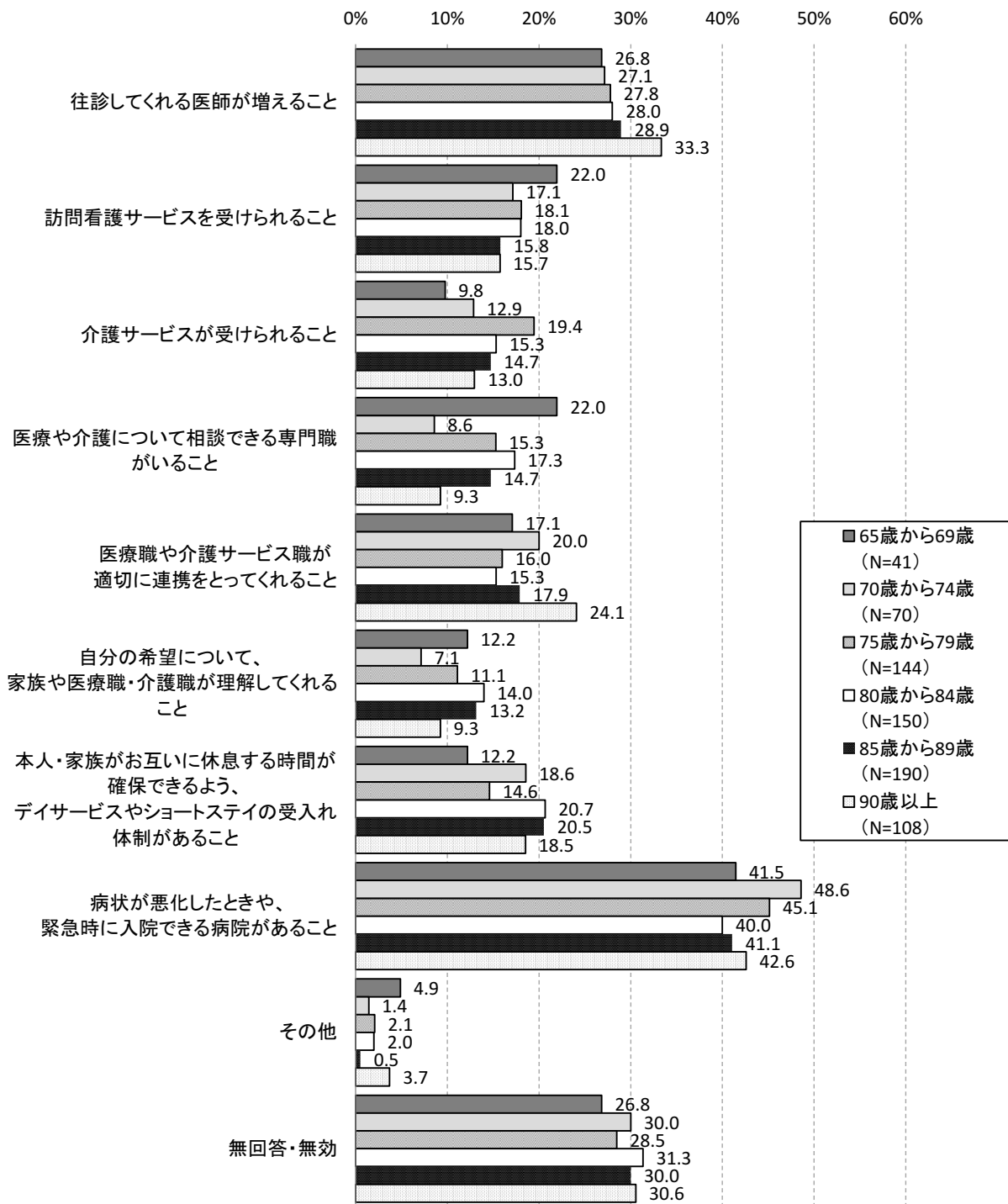
問 25 今後、病院以外での最期を迎えるためには、ということが整っていれば可能になると思われますか。(複数回答 3つ以内)

最期を迎える環境については、「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」(40.1%)が最も多く、「往診してくれる医師が増えること」(27.7%)と続く。年齢層別にみると「往診してくれる医師が増えること」は年齢層が高いほど高く、「病状が悪化したときや、緊急時に入院できる病院があること」については年齢層に関わらず4割程度となっている。

【最期を迎えるため環境】

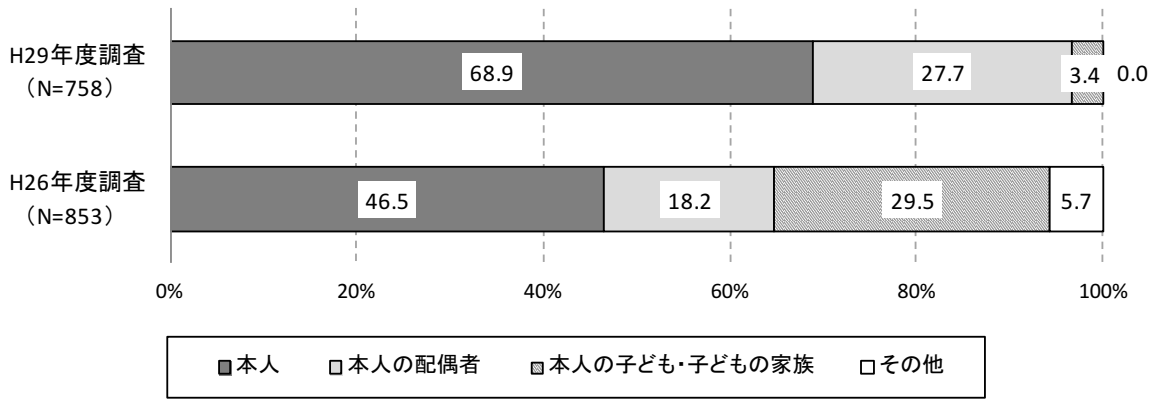


【最期を迎えるため環境】

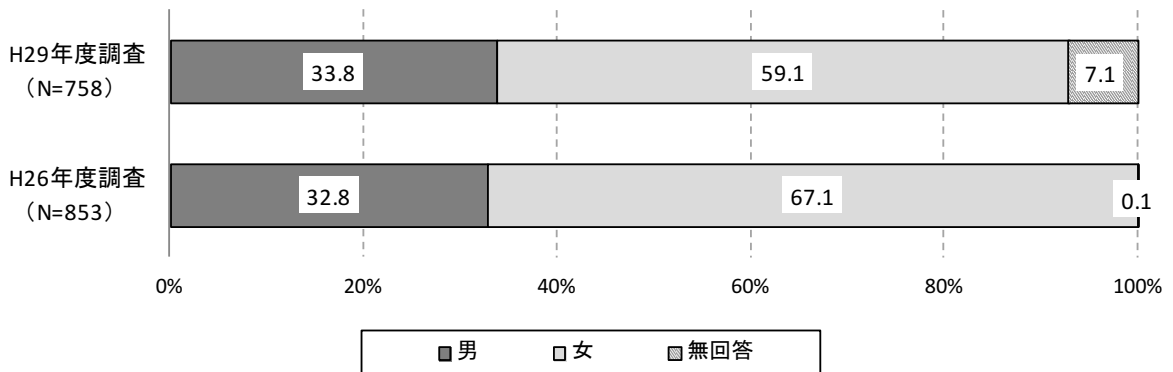


回答者の属性

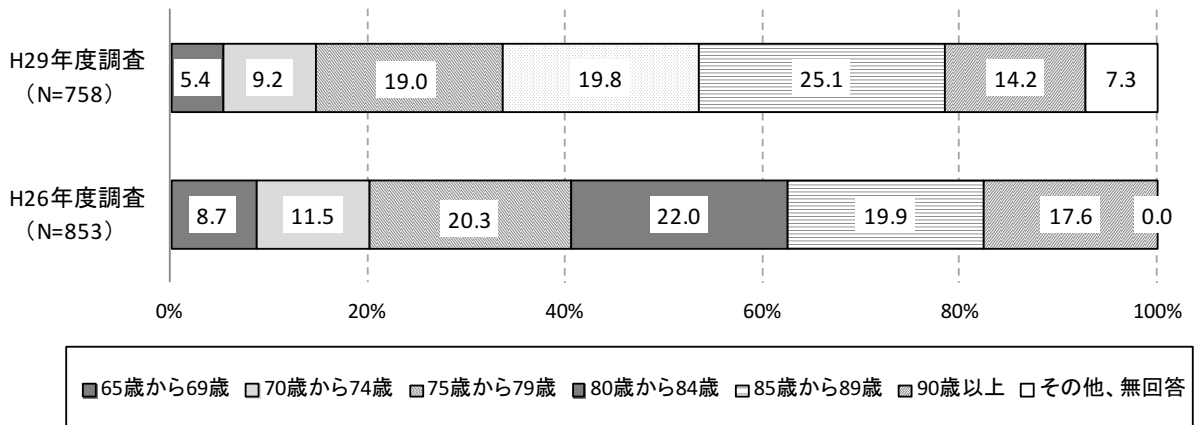
【回答者】



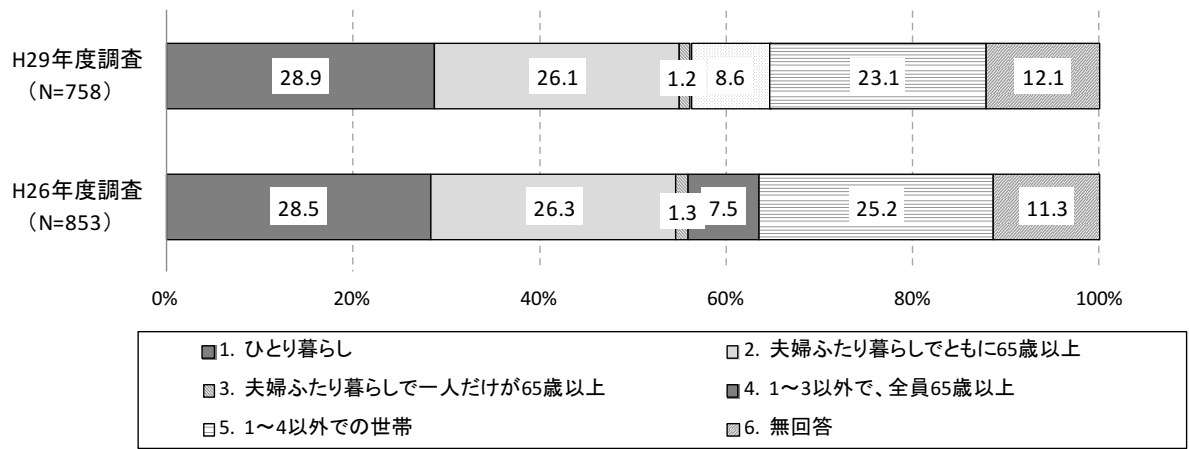
【性別】



【年齢】



【家族構成】



【住まいの状況】

